

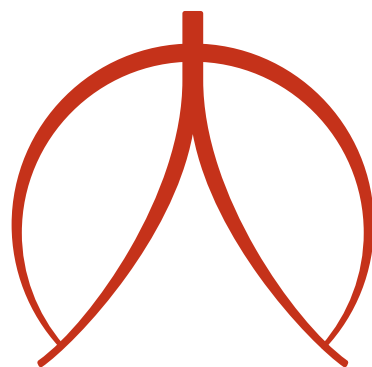
大谷大学広報

編集 大谷大学広報編集委員会

No.165

2006年3月

2005 臨時号



2002年度～2004年度 「授業をより良くするためのアンケート」 結果報告書

授業をより良くするためのアンケート

■このアンケートは、学生の皆さんの授業に対する意見をお聞きし、大学の授業をより良くするための参考資料とすることを目的とするものです。

■各授業に関するアンケートの集計結果は、統計データとしてまとめたものを各授業の担当教員に提供します。
(回答用紙を、直接担当教員に手渡すことはありません。)

■アンケートの全体的集計結果は、後日全学に公表します。

■回答は無記名でお願いします。

■このアンケートは成績評価とはまったく関係ありません。

大谷大学・大谷大学短期大学部
自己点検・評価委員会

2006年3月
大谷大学自己点検・評価委員会

2002年度～2004年度に実施された

「授業をより良くするためのアンケート」の 結果報告にあたって

大谷大学自己点検・評価委員会

委員長 築山修道

ここに2002年～2004年度に実施された「授業をより良くするためのアンケート」3回分の調査結果をまとめて公表します。今回の調査結果の公表は次の2点において特徴があります。

一つは、本来ならば実施年度ごとにその結果を公表すべきところですが、3年分の結果を1回にまとめて分析・公表することにより、アンケート方法や項目などの基準に多少の変動があるとはいえ、3年間に互る推移の結果を比較し、その異同を同時に看取することができるものとなっているという点です。

今一つは、3年間の中でも最終年に当たる2004年度の調査結果に焦点を当てておりますが、2004年度は大学の自己点検・評価の歴史

を画する特別な意義をもった年であり、その時に実施されたアンケート結果であるということです。2004（平成16）年4月1日施行の学校教育法改正により、大学は自らの質保証のために、自己点検・評価を行いその結果を公表することを法的に義務付けられ、あわせて、文部科学省が認証した認証評価機関（本学の場合は「大学基準協会」）による評価（第三者評価）を7年以内に一度は受け、その結果を公表しなければならないことが明記されたのであります。

これによって大学の評価活動は、従来の法的拘束力をもたない「相互評価」から、法定化された第三者評価機関による「認証評価」という法的義務を伴ったものへと大きな転換をみるに到ったのであ

ります。

しかしこのような第三者による評価への展開も、質・量ともに点検・評価のレベル・アップを求められることは必須であるとしても、大学が自らの質の保証と向上を計るために、何処までも各大学自身による自己点検・評価が基本になるという点においては従来と変わらないということをも確認しておく必要があります。言い換えれば、第三者による「認証評価」とは、各大学が自己改革のために自主的に行う自己点検・評価の活動・結果が、第三者の立場からみて妥当なものであるかどうかを評価し認証するものであって、何処までも基本は高等教育機関としての各大学の主体的な自己点検・評価活動に基づくものであり、その

目次

2002年度～2004年度に実施された 「授業をより良くするためのアンケート」の 結果報告にあたって	1
I. 総合的評価	3
II. 大項目・中項目	5
III. 小項目	8



ことなしには成り立たないという認識が肝要なのであります。

この意味において、建学の理念、教育・研究の目的・目標、学生の受け入れ、財務・管理など多分野多項目に亙る自己点検・評価活動の中でも、「授業をより良くするためのアンケート」調査は今後ますます重要な位置づけを持つと言わなければならない。したがって、その調査結果も従前のように単に個々の教員のレベルにおいて授業の改善に資するのみに留まらず、大学全体としてそれを分析・評価して、そのことを通して明らかにされた大学の自己改革のための諸課題に大学総体とし能動的に取り組み、改善すべく不断の努力を続けるために活用されるものでなければなりません。

このような展望に立つとき、「授業をより良くするためのアンケート」調査は内実と実効性を伴った一層有意義なものへと進展していかなければなりません。そしてそのためには、調査方法や項目の立て方などの基準についても実状をよりよく反映できるよう絶えざる点検がなされていかなければならないのであります。

以上のような状況下で実施された2004年度の調査は、従前の基準で行われましたが、今後は先に述べる観点から種々の見直しが必要となるでありましょう。その意味で同様の内容で実施した2005年度の「授業をより良くするためのアンケート」調査の結果も、今回とは別途に出来るだけ早い時期に公表するよう計画しております。

その上で、学生による授業評価のアンケートとして、本学の教育について全学的な視野から点検し、課題の改善に向けて有効に機能できるよう内容の見直しを行った調査として継続してゆく予定でありますので、皆様のご理解を頂きたいいたします。

最後に、本アンケート調査にご協力を頂きました教員各位と学生の皆様に、結果公表が遅れましたことを一言お詫び申し上げますとともに、皆様のご協力に対し心よりお礼申し上げます。

IV. 「学生の姿勢」の3カ年比較（+前回3カ年）	15
V. 総合的評価と各項目との関係	17
VI. アンケート回収率の3カ年比較	21
今後に向けて	23
調査概要	24
授業担当教員への報告	27
アンケート実施科目一覧	28
アンケート実施概要	30

*使用したソフトウェアの影響で、文字配列に一部乱れがあることをお詫びいたします。

I. 総合的評価

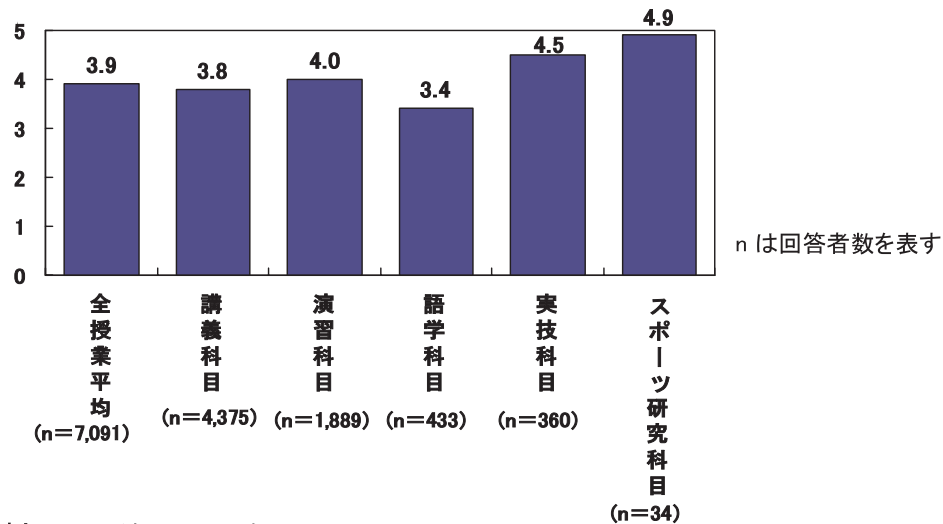
1. 2004年度の結果

①全授業平均および授業種別平均

全授業の総合的評価 …… 3.9ポイント

2004年度調査での全授業平均の総合的評価は3.9ポイントであった。総合的評価を授業種別で見ると、実技科目、スポーツ研究科目は4.5ポイントを超え、評価が高かった。ただしスポーツ研究科目のサンプル数は少なく注意が必要である。演習科目も4.0ポイントの高い評価であったが、講義科目の評価は演習科目と比較してやや低く、語学科目は3.4ポイントの厳しい評価であった。

■ 2004年度



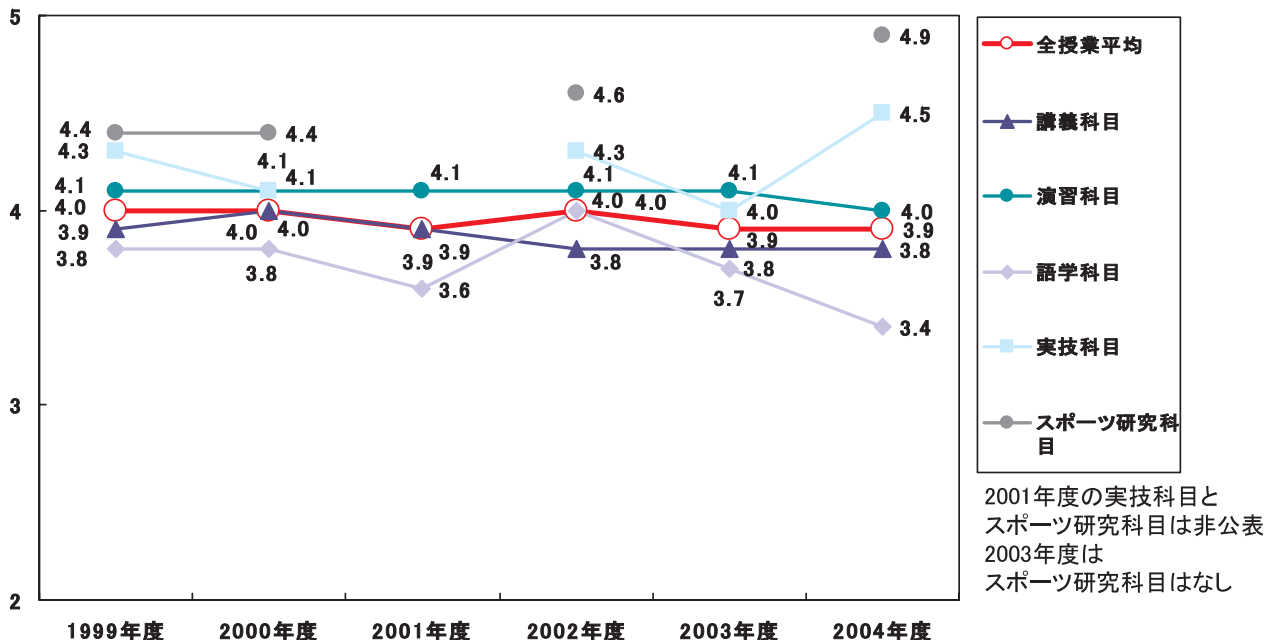
2. 3カ年比較（+前回3カ年）

①全授業平均および授業種別平均

授業種別間で評価に広がり

2002年度～2004年度調査における全授業の総合的評価はほとんど変わっていない。前回の3カ年調査（1999年度～2001年度）を合わせて6カ年でみても変動がほとんど見られない。

授業種別で見ると講義科目、演習科目の評価については3カ年であまり変化がない。また実技科目、スポーツ研究科目の評価が他の科目より高い傾向にも変わりがない。ただ語学科目の評価について漸減傾向が続いているのが目を引く。年度による例外はあるが、ここ6カ年を通じて緩やかな右肩下がりの結果となっている。



②全授業の評価区別の授業数の構成比

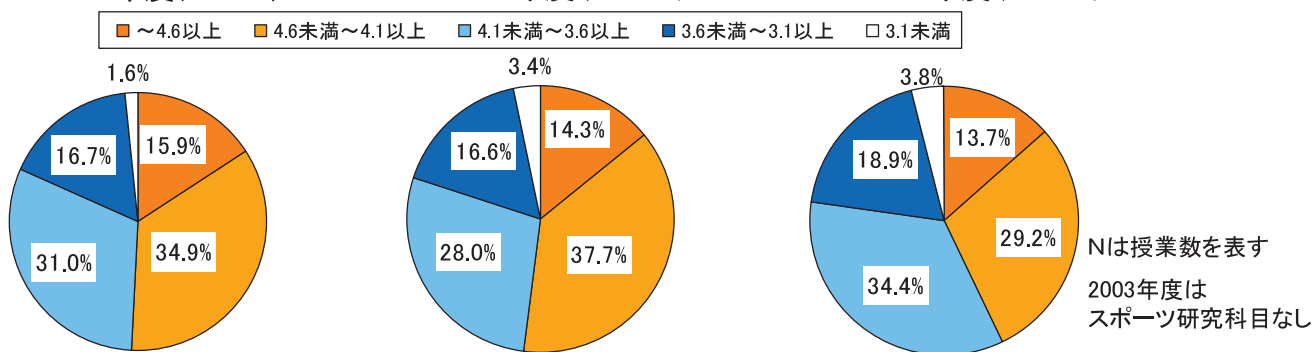
評価の高い授業(評価点4.1ポイント以上)が減少？

評価区別授業数の構成比を3カ年比較すると、総合的評価で高い評価を得ている授業数の比率が、2004年度に低下していることにまず目が向く。他方、アンケートに参加する授業数は増加し、授業改善に取り組む姿勢は見えているが、結果に反映されていないのは今後の課題である。総合的評価で高い評価を得ている授業の絶対数は増えているので、動向を見極めるためには今少し時間を必要とすると考える。

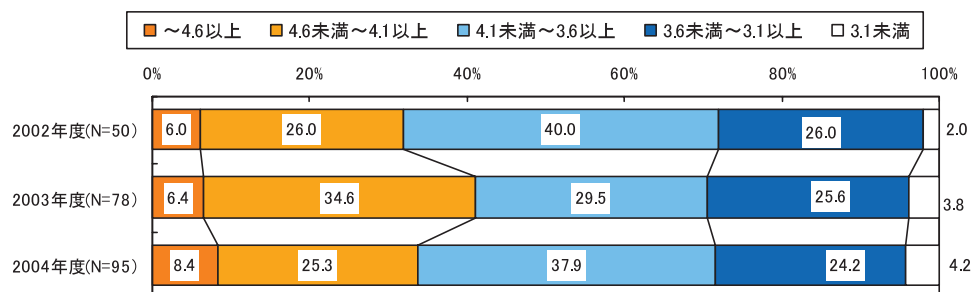
■ 2002年度(N=126)

■ 2003年度(N=175)

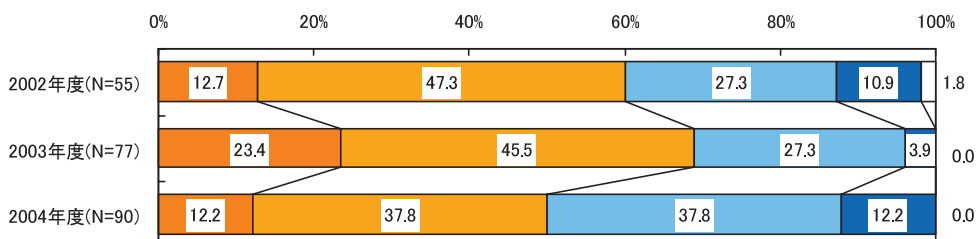
■ 2004年度(N=212)



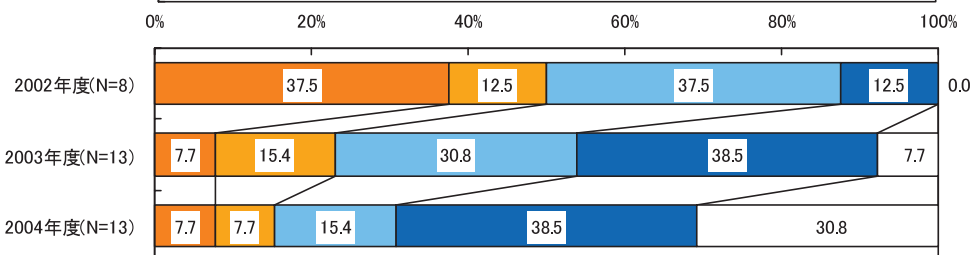
【講義】



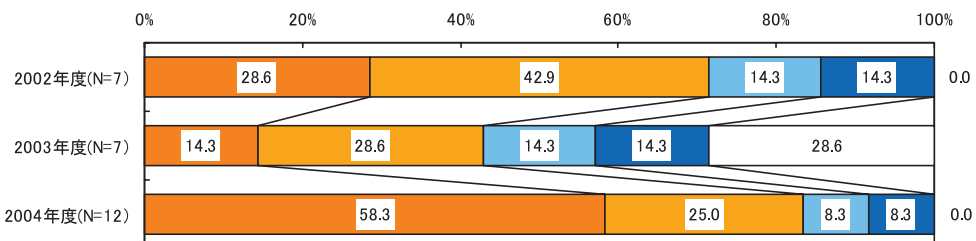
【演習】



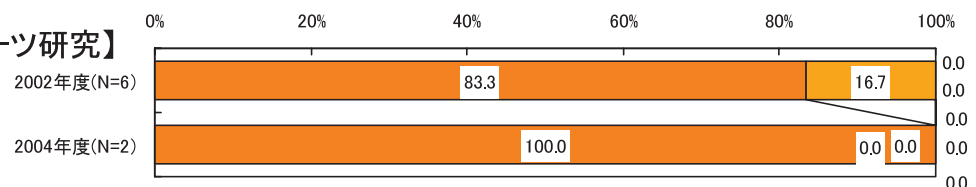
【語学】



【実技】



【スポーツ研究】



Ⅱ. 大項目・中項目

1. 2004年度の結果

全授業平均および授業種別平均

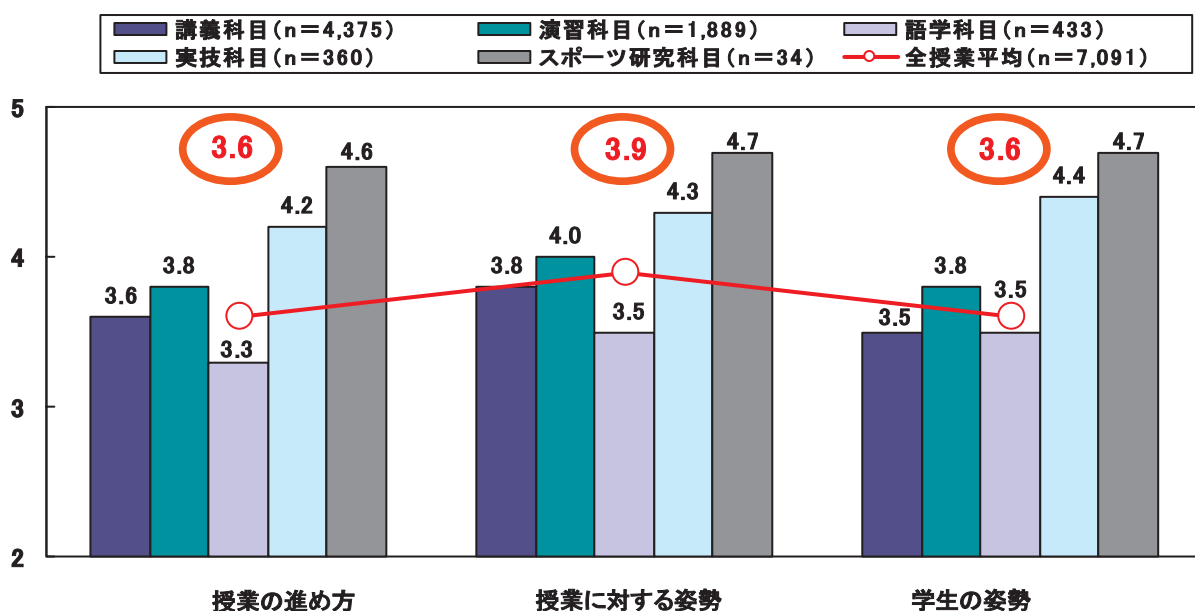
大項目では「授業に対する姿勢」が高評価

全授業平均の大項目評価では「授業に対する姿勢」が3.9ポイントで最も高く、「授業の進め方」「学生の姿勢」の評価はともに3.6ポイントである。

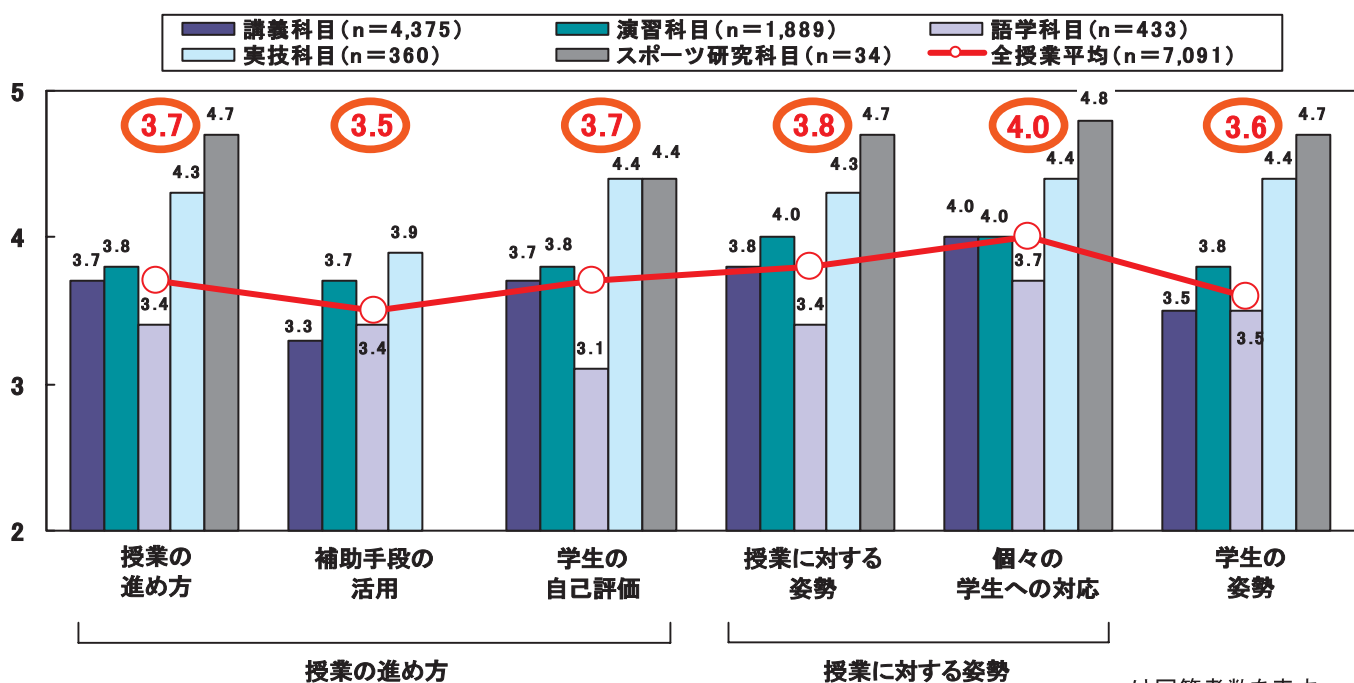
授業種別でみると、講義科目、演習科目、語学科目の3科目群と、実技科目、スポーツ研究科目の2科目群の間では、大項目評価に明らかな差が見られる。実技科目、スポーツ研究科目群がどの項目においても4.2ポイント以上の高い評価を得ているのに対し、講義科目、演習科目、語学科目群の評価は4.0ポイント以下である。なかでも語学科目の「授業の進め方」の評価が非常に低い。

中項目評価においては、語学科目の「学生の自己評価」が3.1ポイントと低いことが特に目につく。

■ 大項目評価



■ 中項目評価



nは回答者数を表す
○は全授業平均を表す

2. 3カ年比較（十前回3カ年）

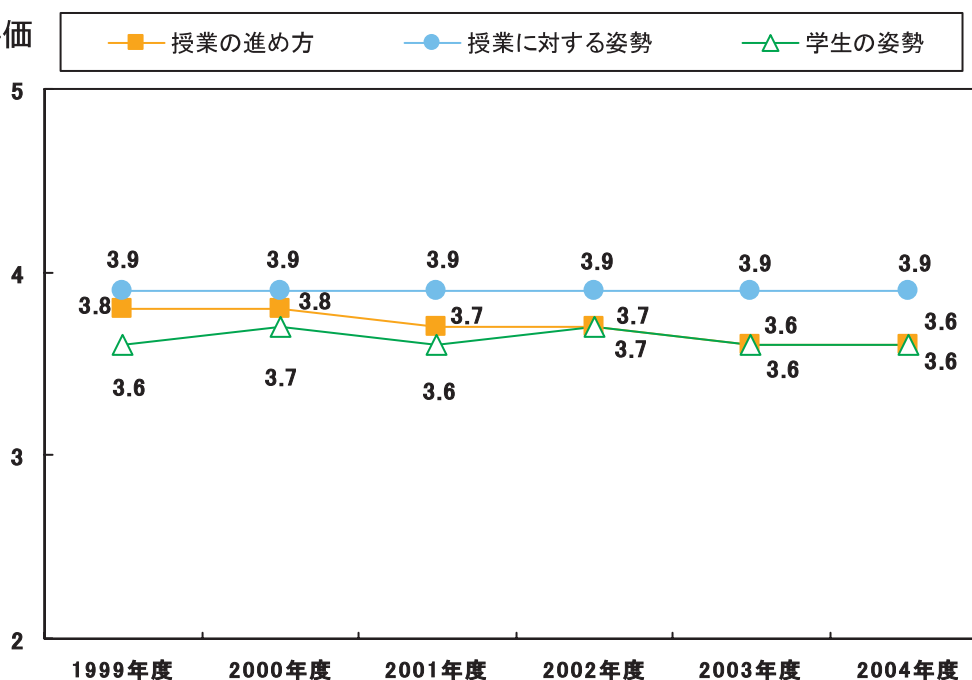
①全授業平均

中項目では「個々の学生への対応」が6年間ともトップの評価

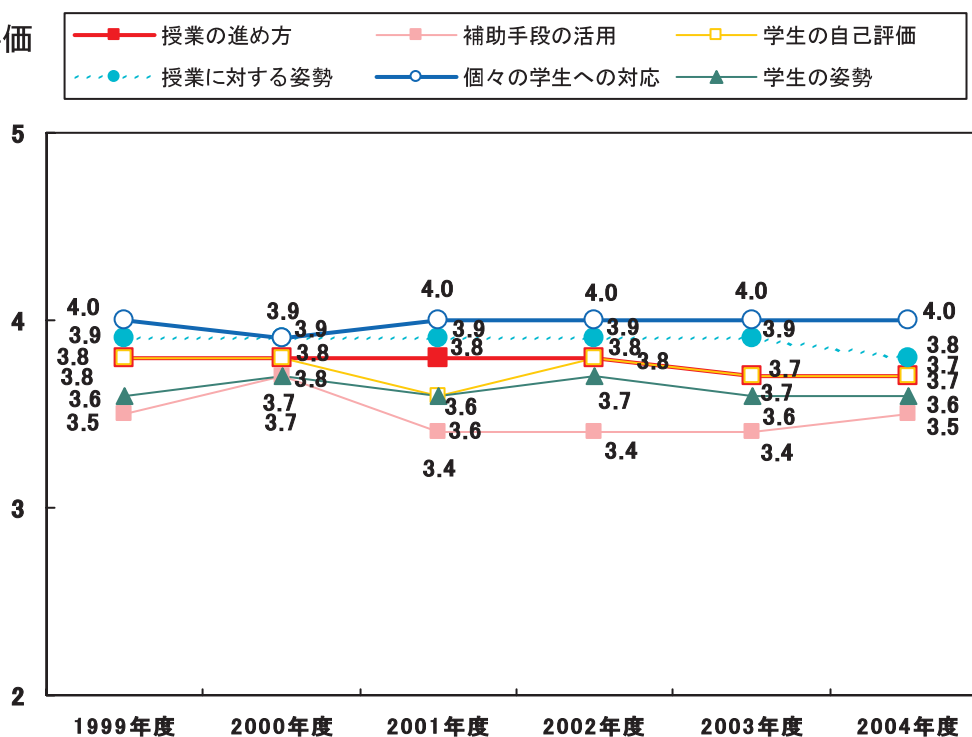
大項目評価を6カ年でみると「授業に対する姿勢」と「学生の姿勢」が6年連続でほぼ同じ水準を維持しているのに対し、「授業の進め方」は緩やかな漸減傾向が続いている。

中項目評価では、「個々の学生への対応」への評価が最も高く、6年間を通じて4.0の高ポイントをほぼ維持している。その他の項目についても6年間を通じてほぼ同水準を維持するなかで、「補助手段の活用」が2001年度に一度評価を下げながらも、回復傾向にある。

■ 大項目評価



■ 中項目評価



②授業種別平均

講義科目・演習科目では現状維持

授業種別の大項目に対する評価を3カ年で比較すると、実技科目、スポーツ研究科目では評価が上昇、講義科目、演習科目は現状維持、語学科目では評価が下降した。大項目評価が高いのは実技科目、スポーツ研究科目、やや高いのが演習科目であるが、スポーツ研究科目はサンプル数が少ないので慎重な取扱いが必要である。また、語学科目と実技科目とは対照的な結果となっているが、これもサンプル数を増やすのが今後の課題である。

■ 大項目評価

【講義】	2002年度 (n=2,317)	2003年度 (n=3,937)	2004年度 (n=4,375)
授業の進め方	3.6	3.5	3.6
授業に対する姿勢	3.8	3.8	3.8
学生の姿勢	3.5	3.5	3.5

【演習】	2002年度 (n=1,312)	2003年度 (n=1,651)	2004年度 (n=1,889)
授業の進め方	3.8	3.8	3.8
授業に対する姿勢	4.0	4.1	4.0
学生の姿勢	3.8	3.8	3.8

【語学】	2002年度 (n=177)	2003年度 (n=367)	2004年度 (n=433)
授業の進め方	3.7	3.5	3.3
授業に対する姿勢	3.9	3.6	3.5
学生の姿勢	3.9	3.6	3.5

【実技】	2002年度 (n=217)	2003年度 (n=227)	2004年度 (n=360)
授業の進め方	4.0	3.9	4.2
授業に対する姿勢	4.1	4.1	4.3
学生の姿勢	4.2	4.0	4.4

【スポーツ研究】	2002年度 (n=207)	2003年度 (n=0)	2004年度 (n=34)
授業の進め方	4.4		4.6
授業に対する姿勢	4.3		4.7
学生の姿勢	4.6		4.7

nは回答者数を表す

語学科目は詳細な分析が必要

授業種別の中項目に対する評価を3カ年で比較しても、大項目と同じ傾向が窺える。実技科目、スポーツ研究科目はこの3年間で着実に評価を上昇させた。講義科目、演習科目は若干の項目に高下は見られるがほぼ現状維持であった。そうしたなかでサンプル数は少ないが、語学科目がこの3年間にすべての中項目で評価を下降させている。なかでも「授業の進め方」「個々の学生への対応」の下降幅が大きいのは課題である。

■ 中項目評価

【講義】	2002年度 (n=2,317)	2003年度 (n=3,937)	2004年度 (n=4,375)
授業の進め方	3.7	3.6	3.7
補助手段の活用	3.3	3.3	3.3
学生の自己評価	3.6	3.6	3.7
授業に対する姿勢	3.8	3.8	3.8
個々の学生への対応	3.9	3.9	4.0
学生の姿勢	3.5	3.5	3.5

【演習】	2002年度 (n=1,312)	2003年度 (n=1,651)	2004年度 (n=1,889)
授業の進め方	3.8	3.9	3.8
補助手段の活用	3.7	3.7	3.7
学生の自己評価	3.9	3.9	3.8
授業に対する姿勢	4.0	4.1	4.0
個々の学生への対応	4.0	4.1	4.0
学生の姿勢	3.8	3.8	3.8

【語学】	2002年度 (n=177)	2003年度 (n=367)	2004年度 (n=433)
授業の進め方	3.9	3.6	3.4
補助手段の活用	3.6	3.4	3.4
学生の自己評価	3.4	3.3	3.1
授業に対する姿勢	3.8	3.6	3.4
個々の学生への対応	4.2	3.8	3.7
学生の姿勢	3.9	3.6	3.5

【実技】	2002年度 (n=217)	2003年度 (n=227)	2004年度 (n=360)
授業の進め方	4.1	3.9	4.3
補助手段の活用	3.9	3.6	3.9
学生の自己評価	4.1	4.0	4.4
授業に対する姿勢	4.1	4.1	4.3
個々の学生への対応	4.2	4.2	4.4
学生の姿勢	4.2	4.0	4.4

【スポーツ研究】	2002年度 (n=207)	2003年度 (n=0)	2004年度 (n=34)
授業の進め方	4.5		4.7
補助手段の活用			
学生の自己評価	4.1		4.4
授業に対する姿勢	4.2		4.7
個々の学生への対応	4.4		4.8
学生の姿勢	4.6		4.7

nは回答者数を表す

Ⅲ. 小項目

1. 2004年度の結果

全授業平均および授業種別平均

全体として「授業の進め方」に工夫が必要

2004年度授業種別の小項目評価をみたのが下表である。これまで大項目評価と中項目評価でみてきたことと同様のことが、ここでも窺える。

小項目評価が高いのは実技科目、スポーツ研究科目、やや高いのが演習科目、講義科目がそれに続き、語学科目は全項目にわたって評価が低く、課題がみて取れる。

大項目	中項目	小項目	全授業平均	講義科目平均	演習科目平均	語学科目平均	実技科目平均	スポーツ研究科目平均	
			(n=7,091)	(n=4,375)	(n=1,889)	(n=433)	(n=360)	(n=34)	
授業の進め方	授業の進め方	シラバスに沿って進められたか	4.0	4.0	4.0	3.9	4.4	-	
		説明が充分で理解しやすかったか	3.7	3.7	3.8	3.3	4.4	4.9	
		興味が持てるように配慮がされていたか	3.6	3.5	3.7	3.1	-	4.8	
		話し方は明瞭でわかりやすかったか	3.7	3.6	3.9	3.2	4.3	-	
		私語の注意など、授業の雰囲気づくりに配慮がされていたか	3.7	3.7	-	3.5	4.1	-	
		授業に積極的に参加できる雰囲気がつくられていたか	3.5	3.4	3.7	3.2	4.4	4.9	
		授業の進行や時間配分は適切か	3.8	3.8	-	3.6	4.1	4.6	
		レポート・論文作成などの指導は適切か	3.8	-	3.8	-	-	-	
		意見発表や意見交換の場であったか	3.4	-	3.4	-	-	-	
		学生の語学力に配慮した指導がされていたか	3.4	-	-	3.4	-	-	
		学生の体力や技術を把握した上で指導がされたか	4.8	-	-	-	-	4.8	
		安全面における配慮は充分にされていたか	4.7	-	-	-	-	4.7	
		他者と協力して授業に参加するよう配慮されていたか	4.8	-	-	-	-	4.8	
		運動量は満足できたか	4.4	-	-	-	-	4.4	
	技術習得への充分な配慮がされていたか	4.4	-	-	-	4.4	-		
	与えられた課題の量は適切か	4.2	-	-	-	4.2	-		
	補助手段の活用	補助手段の活用	板書は読みやすく丁寧に書かれていたか	3.4	3.3	3.5	3.4	3.8	-
			テキストの使用や参考書の活用は適切か	3.6	3.5	3.8	3.8	4.0	-
			ビデオなどの機器使用は適切か	3.2	3.2	-	3.0	-	-
			テキストや教材のレベルは適切か	3.8	-	-	3.5	4.1	-
学生の自己評価	学生の自己評価	内容に興味を持てたか	3.7	3.7	3.8	3.2	4.5	-	
		語学力は身についたか	3.0	-	-	3.0	-	-	
		更に学習する意欲が湧いたか	3.1	-	-	3.1	-	-	
		自分の身体や健康に対する関心が高まったか	4.6	-	-	-	-	4.6	
		運動技能は向上したか	4.1	-	-	-	-	4.1	
		スポーツ(授業を受けた種目)が以前より好きになったか	4.7	-	-	-	-	4.7	
		技能は向上したか	4.3	-	-	-	4.3	-	
授業に対する姿勢	授業に対する姿勢	授業は時間通りであったか	3.9	3.8	3.9	3.6	4.2	4.6	
		授業に対する熱意が感じられたか	4.1	4.1	4.1	3.4	4.4	4.9	
		学習方法などに適切な助言を与えたり、親切に相談にのったか	3.7	3.5	4.0	3.3	4.4	-	
		ものの見方や考え方についても啓発されたか	3.7	3.7	3.9	3.1	-	-	
		休講の連絡には充分な配慮がされていたか	4.0	3.9	4.1	3.7	4.3	4.8	
		休講の補いは充分にされていたか	3.8	3.7	3.9	3.4	4.2	4.4	
	の学個対生々への応	の学個対生々への応	学生の人格やプライバシーを尊重していたか	4.0	3.9	4.1	3.6	4.3	4.8
			一人ひとりの学生に対して公平であったか	4.0	4.0	4.2	3.8	4.4	4.9
			学生の名前と顔を覚えていたか	3.8	-	3.8	-	-	-
学生の姿勢	学生の姿勢	授業によく出席したか	4.3	4.2	4.3	4.1	4.7	4.6	
		授業に意欲的に取り組んだか	3.7	3.7	3.8	3.4	4.5	4.7	
		予習・復習などをしたか	2.9	2.7	3.2	2.9	3.9	-	
総合的な評価は			3.9	3.8	4.0	3.4	4.5	4.9	

3.6~4.0

4.1以上

nは回答者数を表す

2. 3カ年比較

①全授業平均

小項目の全授業平均の評価が、それぞれの項目で比較的安定した推移をするなかで、動きが見られるのは、実技科目、スポーツ研究科目のみに該当する項目(※2)の評価の上昇と、語学科目のみに該当する項目(※1)の評価の下降である。一方、「学生の姿勢」をみると「授業によく出席したか」は高水準で推移しているにもかかわらず、「授業に意欲的に取り組んだか」は2003年度に下降を示し、「予習・復習などをしたか」では低い水準が継続している。

- ※1 ●実技科目のみに該当する項目
 「技術習得への十分な配慮がされていたか」「与えられた課題の量は適当か」「技能は向上したか」
- スポーツ研究科目のみに該当する項目
 「学生の体力や技術を把握した上で指導がされたか」「安全面における配慮は充分にされていたか」「他者と協力して授業に参加するよう配慮されていたか」「運動量は満足できたか」「自分の身体や健康に対する関心が高まったか」「運動技能は向上したか」「スポーツ(授業を受けた種目)が以前より好きになったか」
- ※2 ●語学科目のみに該当する項目
 「学生の語学力に配慮した指導がされていたか」「語学力は身についたか」「更に学習する意欲が湧いたか」

【全授業平均】

大項目	中項目	全科目共通	以研ス外共ポ一通究ツ	小項目	2002年度 (n=4,230)	2003年度 (n=6,182)	2004年度 (n=7,091)	3カ年平均 (n=17,503) ※2003年度は一部異なる	
授業の進め方	授業の進め方	◎		シラバスに沿って進められたか	4.1	3.9	4.0	4.0	
		◎		説明が充分で理解しやすかったか	3.8	3.7	3.7	3.7	
		◎		興味が持てるように配慮がされていたか	3.7	3.6	3.6	3.6	
		◎		話し方は明瞭でわかりやすかったか	3.8	3.7	3.7	3.7	
				私語の注意など、授業の雰囲気づくりに配慮がされていたか	3.8	3.7	3.7	3.7	
		◎		授業に積極的に参加できる雰囲気がつくられていたか	3.6	3.5	3.5	3.5	
				授業の進行や時間配分は適切か	3.8	3.8	3.8	3.8	
				レポート・論文作成などの指導は適切か	3.9	4.0	3.8	3.9	
				意見発表や意見交換の場であったか	3.4	3.5	3.4	3.4	
				学生の語学力に配慮した指導がされていたか	3.6	3.5	3.4	3.4	
				学生の体力や技術を把握した上で指導がされたか	4.5	-	4.8	4.5	
				安全面における配慮は充分にされていたか	4.6	-	4.7	4.6	
				他者と協力して授業に参加するよう配慮されていたか	4.6	-	4.8	4.6	
				運動量は満足できたか	4.3	-	4.4	4.3	
			技術習得への十分な配慮がされていたか	4.2	3.9	4.4	4.2		
			与えられた課題の量は適当か	4.0	4.0	4.2	4.1		
		補助手段の活用	◎		板書は読みやすく丁寧に書かれていたか	3.4	3.3	3.4	3.4
			◎		テキストの使用や参考書の活用は適切か	3.7	3.6	3.6	3.6
					ビデオなどの機器使用は適切か	3.1	3.2	3.2	3.2
					テキストや教材のレベルは適当か	3.7	3.7	3.8	3.7
		学生の自己評価	◎		内容に興味が持てたか	3.7	3.7	3.7	3.7
					語学力は身についたか	3.3	3.2	3.0	3.1
					更に学習する意欲が湧いたか	3.3	3.2	3.1	3.1
					自分の身体や健康に対する関心が高まったか	4.0	-	4.6	4.1
					運動技能は向上したか	4.0	-	4.1	4.0
					スポーツ(授業を受けた種目)が以前より好きになったか	4.3	-	4.7	4.4
				技能は向上したか	3.9	3.8	4.3	4.1	
	授業に対する姿勢	授業姿勢に対する	◎		授業は時間通りであったか	3.9	3.9	3.9	3.9
◎				授業に対する熱意が感じられたか	4.2	4.2	4.1	4.1	
◎				学習方法などに適切な助言を与えたり、親切に相談にのったか	3.7	3.7	3.7	3.7	
				ものの見方や考え方についても啓発されたか	3.8	3.8	3.7	3.8	
◎				休講の連絡には十分な配慮がされていたか	3.9	4.0	4.0	4.0	
◎			休講の補いは充分にされていたか	3.7	3.7	3.8	3.7		
		学対生々への対応	◎		学生の人格やプライバシーを尊重していたか	4.0	4.0	4.0	4.0
◎			一人ひとりの学生に対して公平であったか	4.1	4.0	4.0	4.0		
				学生の名前と顔を覚えていたか	3.6	4.0	3.8	3.8	
学生の姿勢	学生の姿勢	◎		授業によく出席したか	4.3	4.2	4.3	4.3	
		◎		授業に意欲的に取り組んだか	3.8	3.7	3.7	3.7	
		◎		予習・復習などをしたか	2.8	2.8	2.9	2.9	
総合的な評価は					4.0	3.9	3.9	3.9	

nは回答者数を表す

3カ年平均は各年度の各項目の評価人数に戻って再計算したもの₉

3.6~4.0 4.1以上

②授業種別平均

i 講義科目

「授業に対する熱意が感じられたか」と
「授業によく出席したか」が高水準を維持

ここからは、授業種別に小項目評価の3ヵ年推移をみていくことにする。

まず講義科目については、総合的評価は3ヵ年とも3.8ポイントで変化がない。小項目レベルでは多少の変動がみられるが、そのなかで「説明が充分で理解しやすかったか」「授業に積極的に参加できる雰囲気がつくられていたか」「内容に興味を持てたか」「予習・復習などをしたか」等の項目がポイントを上昇させており、授業改善に向けた努力が感じとれる。これらは演習科目と比較してかなり低めの評価となっている。形態的にみて講義科目はクラス規模が大きく、多様な受講者が在籍することが多いので、講義科目の授業運営の難しさを表すものと考えられるが、そこに努力の跡が見受けられるのは心強いことである。

【講義】

大項目	中項目	小項目	2002年度 (n=2,317)	2003年度 (n=3,937)	2004年度 (n=4,375)	3ヵ年平均 (n=10,629)
授業の進め方	授業の進め方	シラバスに沿って進められたか	4.0	3.9	4.0	4.0
		説明が充分で理解しやすかったか	3.6	3.6	3.7	3.6
		興味を持てるように配慮がされていたか	3.5	3.5	3.5	3.5
		話し方は明瞭でわかりやすかったか	3.6	3.5	3.6	3.6
		私語の注意など、授業の雰囲気づくりに配慮がされていたか	3.7	3.7	3.7	3.7
		授業に積極的に参加できる雰囲気がつくられていたか	3.3	3.3	3.4	3.3
		授業の進行や時間配分は適切か	3.8	3.8	3.8	3.8
		レポート・論文作成などの指導は適切か	-	-	-	-
		意見発表や意見交換の場であったか	-	-	-	-
		学生の語学力に配慮した指導がされていたか	-	-	-	-
		学生の体力や技術を把握した上で指導がされたか	-	-	-	-
		安全面における配慮は充分にされていたか	-	-	-	-
		他者と協力して授業に参加するよう配慮されていたか	-	-	-	-
		運動量は満足できたか	-	-	-	-
		技術習得への十分な配慮がされていたか	-	-	-	-
	与えられた課題の量は適当か	-	-	-	-	
	補助手段の活用	板書は読みやすく丁寧に書かれていたか	3.3	3.2	3.3	3.3
		テキストの使用や参考書の活用は適切か	3.5	3.5	3.5	3.5
		ビデオなどの機器使用は適切か	3.1	3.2	3.2	3.2
		テキストや教材のレベルは適当か	-	-	-	-
	学生の自己評価	内容に興味を持てたか	3.6	3.6	3.7	3.6
		語学力は身についたか	-	-	-	-
		更に学習する意欲が湧いたか	-	-	-	-
		自分の身体や健康に対する関心が高まったか	-	-	-	-
		運動技能は向上したか	-	-	-	-
		スポーツ(授業を受けた種目)が以前より好きになったか	-	-	-	-
	授業に対する姿勢	授業に對する姿勢	授業は時間通りであったか	3.9	3.9	3.8
授業に対する熱意が感じられたか			4.2	4.1	4.1	4.1
学習方法などに適切な助言を与えたり、親切に相談にのったか			3.5	3.5	3.5	3.5
ものの見方や考え方についても啓発されたか			3.8	3.7	3.7	3.8
休講の連絡には十分な配慮がされていたか			3.8	3.9	3.9	3.9
休講の補いは充分にされていたか		3.6	3.6	3.7	3.7	
学生の個々への対応	学生の人格やプライバシーを尊重していたか	3.9	3.9	3.9	3.9	
	一人ひとりの学生に対して公平であったか	3.9	4.0	4.0	4.0	
	学生の名前と顔を覚えていたか	-	-	-	-	
学生の姿勢	学生の姿勢	授業によく出席したか	4.3	4.2	4.2	4.2
		授業に意欲的に取り組んだか	3.7	3.6	3.7	3.7
		予習・復習などをしたか	2.5	2.6	2.7	2.6
総合的な評価は			3.8	3.8	3.8	3.8

nは回答者数を表す

3ヵ年平均は各年度の各項目の評価人数に戻って再計算したもの

3.6~4.0

4.1以上

ii 演習科目

7項目で0.2ポイント評価が低下

演習科目の総合的評価は3ヵ年で4.1ポイントから4.0ポイントに漸減した。講義科目、語学科目に比べて全体的に評価の高い演習科目ではあるが、小項目レベルでの評価をみると、2003年度から2004年度にかけて0.2ポイント以上評価を下げた項目は、「興味を持てるように配慮されていたか」「レポート・論文作成などの指導は適切か」「板書は読みやすく丁寧に書かれていたか」「授業は時間通りであったか」「授業に対する熱意が感じられたか」「学生の名前と顔を覚えていたか」「予習・復習などをしたか」の7項目である。「学生の姿勢」（大項目）のなかで「予習・復習などをしたか」の評価が低いことが、ここでも指摘される。評価数値を更に落ち込ませないために、ここに挙げられた項目を中心として、演習科目の授業運営について見直しが望まれる。

【演習】

大項目	中項目	小項目	2002年度 (n=1,312)	2003年度 (n=1,651)	2004年度 (n=1,889)	3ヵ年平均 (n=4,852)	
授業の進め方	授業の進め方	シラバスに沿って進められたか	4.1	4.1	4.0	4.1	
		説明が充分で理解しやすかったか	3.9	3.9	3.8	3.9	
		興味を持てるように配慮がされていたか	3.8	3.9	3.7	3.8	
		話し方は明瞭でわかりやすかったか	3.9	4.0	3.9	3.9	
		私語の注意など、授業の雰囲気づくりに配慮がされていたか	-	-	-	-	
		授業に積極的に参加できる雰囲気がつられていたか	3.7	3.7	3.7	3.7	
		授業の進行や時間配分は適切か	-	-	-	-	
		レポート・論文作成などの指導は適切か	3.9	4.0	3.8	3.9	
		意見発表や意見交換の場であったか	3.4	3.5	3.4	3.4	
		学生の語学力に配慮した指導がされていたか	-	-	-	-	
		学生の体力や技術を把握した上で指導がされたか	-	-	-	-	
		安全面における配慮は充分にされていたか	-	-	-	-	
		他者と協力して授業に参加するよう配慮されていたか	-	-	-	-	
		運動量は満足できたか	-	-	-	-	
		技術習得への十分な配慮がされていたか	-	-	-	-	
	与えられた課題の量は適当か	-	-	-	-		
	補助手段の活用	補助手段の活用	板書は読みやすく丁寧に書かれていたか	3.6	3.7	3.5	3.6
			テキストの使用や参考書の活用は適切か	3.8	3.8	3.8	3.8
			ビデオなどの機器使用は適切か	-	-	-	-
			テキストや教材のレベルは適当か	-	-	-	-
	学生の自己評価	学生の自己評価	内容に興味を持てたか	3.9	3.9	3.8	3.8
			語学力は身についたか	-	-	-	-
			更に学習する意欲が湧いたか	-	-	-	-
			自分の身体や健康に対する関心が高まったか	-	-	-	-
			運動技能は向上したか	-	-	-	-
			スポーツ(授業を受けた種目)が以前より好きになったか	-	-	-	-
	授業に対する姿勢	授業に対する姿勢	授業は時間通りであったか	4.0	4.1	3.9	4.0
授業に対する熱意が感じられたか			4.2	4.3	4.1	4.2	
学習方法などに適切な助言を与えたり、親切に相談にのったか			3.9	4.0	4.0	4.0	
ものの見方や考え方についても啓発されたか			4.0	4.0	3.9	4.0	
休講の連絡には十分な配慮がされていたか			4.0	4.2	4.1	4.1	
休講の補いは充分にされていたか			3.8	3.9	3.9	3.9	
学生の人格やプライバシーを尊重していたか			4.0	4.2	4.1	4.1	
学生の姿勢	学生の姿勢	一人ひとりの学生に対して公平であったか	4.2	4.2	4.2	4.2	
		学生の名前と顔を覚えていたか	3.6	4.0	3.8	3.8	
		授業によく出席したか	4.3	4.3	4.3	4.3	
学生の姿勢	学生の姿勢	授業に意欲的に取り組んだか	3.9	3.9	3.8	3.9	
		予習・復習などをしたか	3.2	3.4	3.2	3.3	
		総合的な評価は	4.1	4.1	4.0	4.1	

3.6~4.0 4.1以上

nは回答者数を表す

3ヵ年平均は各年度の各項目の評価人数に戻って再計算したもの

iii 語学科目

課題の多い語学教育 多方面からの検討が必要

語学科目は、ここ6ヵ年で総合的評価が3.8ポイントから3.4ポイントに下降した。(p3参照)

小項目レベルでの評価をみても、2004年度に4.1以上の項目は「授業によく出席したか」の1項目のみであり、その他の項目は総体的に低い評価に留まっている。

科目の特性により、語学科目の授業評価は厳しくなり勝ちである。更にアンケートのサンプル数が少ないことにも留意する必要がある。今後科目の特性等にも配慮し十分なサンプル数を確保した調査を実施し、分析を重ねた上で抜本的な対策を立てる必要がある。

【語学】

大項目	中項目	小項目	2002年度 (n=177)	2003年度 (n=367)	2004年度 (n=433)	3ヵ年平均 (n=977)
授業の進め方	授業の進め方	シラバスに沿って進められたか	4.2	4.0	3.9	4.0
		説明が充分で理解しやすかったか	3.9	3.6	3.3	3.5
		興味が持てるように配慮がされていたか	3.7	3.3	3.1	3.3
		話し方は明瞭でわかりやすかったか	3.9	3.5	3.2	3.4
		私語の注意など、授業の雰囲気づくりに配慮がされていたか	4.3	3.9	3.5	3.8
		授業に積極的に参加できる雰囲気がつくられていたか	3.8	3.5	3.2	3.4
		授業の進行や時間配分は適切か	3.9	3.7	3.6	3.7
		レポート・論文作成などの指導は適切か	-	-	-	-
		意見発表や意見交換の場であったか	-	-	-	-
		学生の語学力に配慮した指導がされていたか	3.6	3.5	3.4	3.4
		学生の体力や技術を把握した上で指導がされたか	-	-	-	-
		安全面における配慮は充分にされていたか	-	-	-	-
		他者と協力して授業に参加するよう配慮されていたか	-	-	-	-
		運動量は満足できたか	-	-	-	-
	技術習得への十分な配慮がされていたか	-	-	-	-	
	与えられた課題の量は適切か	-	-	-	-	
	補助手段の活用	板書は読みやすく丁寧に書かれていたか	3.5	3.3	3.4	3.4
		テキストの使用や参考書の活用は適切か	4.1	3.7	3.8	3.8
		ビデオなどの機器使用は適切か	3.2	2.9	3.0	3.0
		テキストや教材のレベルは適切か	3.5	3.6	3.5	3.5
学生の自己評価	内容に興味が持てたか	3.5	3.4	3.2	3.3	
	語学力は身についたか	3.3	3.2	3.0	3.1	
	更に学習する意欲が湧いたか	3.3	3.2	3.1	3.1	
	自分の身体や健康に対する関心が高まったか	-	-	-	-	
	運動技能は向上したか	-	-	-	-	
	スポーツ(授業を受けた種目)が以前より好きになったか	-	-	-	-	
授業に対する姿勢	授業に対する姿勢	授業は時間通りであったか	3.9	3.7	3.6	3.7
		授業に対する熱意が感じられたか	4.1	3.8	3.4	3.7
		学習方法などに適切な助言を与えたり、親切に相談にのったか	3.9	3.6	3.3	3.5
		ものの見方や考え方についても啓発されたか	3.5	3.3	3.1	3.2
		休講の連絡には十分な配慮がされていたか	3.9	3.7	3.7	3.7
		休講の補いは充分にされていたか	3.6	3.6	3.4	3.5
	学生の個性やプライバシーを尊重していたか	4.1	3.7	3.6	3.7	
学生の対応への	一人ひとりの学生に対して公平であったか	4.2	3.8	3.8	3.9	
	学生の名前と顔を覚えていたか	-	-	-	-	
学生の姿勢	学生の姿勢	授業によく出席したか	4.5	4.2	4.1	4.2
		授業に意欲的に取り組んだか	3.7	3.5	3.4	3.5
		予習・復習などをしたか	3.5	3.1	2.9	3.1
総合的な評価は			4.0	3.7	3.4	3.6

3.6~4.0 4.1以上

nは回答者数を表す
3ヵ年平均は各年度の各項目の評価人数に戻って再計算したもの

iv 実技科目

実技科目は高い評価

実技科目の総合的評価は、4.5ポイントで高い。

小項目レベルでの評価をみても、23項目中20項目が4.1ポイント以上である。ただアンケート調査のサンプル数が少ないことが経年変化に影響を及ぼしている。

【実技】

大項目	中項目	小項目	2002年度 (n=217)	2003年度 (n=227)	2004年度 (n=360)	3か年平均 (n=804)	
授業の進め方	授業の進め方	シラバスに沿って進められたか	4.2	3.9	4.4	4.2	
		説明が充分で理解しやすかったか	4.2	3.9	4.4	4.2	
		興味が持てるように配慮がされていたか	-	-	-	-	
		話し方は明瞭でわかりやすかったか	4.2	3.8	4.3	4.2	
		私語の注意など、授業の雰囲気づくりに配慮がされていたか	4.0	4.0	4.1	4.1	
		授業に積極的に参加できる雰囲気がつくられていたか	4.1	4.0	4.4	4.2	
		授業の進行や時間配分は適切か	3.7	3.8	4.1	3.9	
		レポート・論文作成などの指導は適切か	-	-	-	-	
		意見発表や意見交換の場であったか	-	-	-	-	
		学生の語学力に配慮した指導がされていたか	-	-	-	-	
		学生の体力や技術を把握した上で指導がされたか	-	-	-	-	
		安全面における配慮は充分にされていたか	-	-	-	-	
		他者と協力して授業に参加するよう配慮されていたか	-	-	-	-	
		運動量は満足できたか	-	-	-	-	
		技術習得への十分な配慮がされていたか	4.2	3.9	4.4	4.2	
		与えられた課題の量は適当か	4.0	4.0	4.2	4.1	
	補助手段の活用	補助手段の活用	板書は読みやすく丁寧に書かれていたか	3.7	3.4	3.8	3.7
			テキストの使用や参考書の活用は適切か	4.1	3.5	4.0	3.9
			ビデオなどの機器使用は適切か	-	-	-	-
			テキストや教材のレベルは適当か	3.9	3.8	4.1	4.0
	学生の自己評価	学生の自己評価	内容に興味が持てたか	4.2	4.3	4.5	4.4
			語学力は身についたか	-	-	-	-
			更に学習する意欲が湧いたか	-	-	-	-
自分の身体や健康に対する関心が高まったか			-	-	-	-	
運動技能は向上したか			-	-	-	-	
スポーツ(授業を受けた種目)が以前より好きになったか			-	-	-	-	
技能は向上したか			3.9	3.8	4.3	4.1	
授業に対する姿勢	授業に対する姿勢	授業は時間通りであったか	3.7	4.2	4.2	4.0	
		授業に対する熱意が感じられたか	4.4	4.2	4.4	4.4	
		学習方法などに適切な助言を与えたり、親切に相談にのったか	4.2	3.8	4.4	4.2	
		ものの見方や考え方についても啓発されたか	-	-	-	-	
		休講の連絡には十分な配慮がされていたか	4.2	4.3	4.3	4.3	
		休講の補いは充分にされていたか	4.0	4.0	4.2	4.1	
	学生の対応への	学生の対応への	学生の人格やプライバシーを尊重していたか	4.2	4.2	4.3	4.3
一人ひとりの学生に対して公平であったか			4.2	4.1	4.4	4.3	
学生の名前と顔を覚えていたか			-	-	-	-	
学生の姿勢	学生の姿勢	授業によく出席したか	4.4	4.6	4.7	4.6	
		授業に意欲的に取り組んだか	4.2	4.3	4.5	4.4	
		予習・復習などをしたか	3.9	3.1	3.9	3.7	
総合的な評価は			4.3	4.0	4.5	4.3	

3.6~4.0 4.1以上

nは回答者数を表す

3か年平均は各年度の各項目の評価人数に戻って再計算したものの

v スポーツ研究科目

スポーツ研究科目の総合的評価は4.9ポイント

スポーツ研究科目の2004年度の総合的評価は4.9ポイントで、5つの授業形態中で最も高い。ただし、アンケート調査のサンプル数は少ない。

小項目レベルでの評価をみても、2004年度には19項目のすべてで4.1ポイント以上を獲得している。スポーツ研究科目、実技科目のような学生が積極的に参加できる授業の評価が高いことに、注目しなければならない。

【スポーツ研究】

大項目	中項目	小項目	2002年度 (n=207)	2003年度 (n=0)	2004年度 (n=34)	3か年平均 (n=241)
授業の進め方	授業の進め方	シラバスに沿って進められたか	-	-	-	-
		説明が充分で理解しやすかったか	4.6	-	4.9	4.6
		興味が持てるように配慮がされていたか	4.5	-	4.8	4.6
		話し方は明瞭でわかりやすかったか	-	-	-	-
		私語の注意など、授業の雰囲気づくりに配慮がされていたか	-	-	-	-
		授業に積極的に参加できる雰囲気がつられていたか	4.6	-	4.9	4.6
		授業の進行や時間配分は適切か	4.4	-	4.6	4.4
		レポート・論文作成などの指導は適切か	-	-	-	-
		意見発表や意見交換の場であったか	-	-	-	-
		学生の語学力に配慮した指導がされていたか	-	-	-	-
		学生の体力や技術を把握した上で指導がされたか	4.5	-	4.8	4.5
		安全面における配慮は充分にされていたか	4.6	-	4.7	4.6
		他者と協力して授業に参加するよう配慮されていたか	4.6	-	4.8	4.6
		運動量は満足できたか	4.3	-	4.4	4.3
		技術習得への十分な配慮がされていたか	-	-	-	-
	与えられた課題の量は適当か	-	-	-	-	
	補助手段の活用	板書は読みやすく丁寧に書かれていたか	-	-	-	-
		テキストの使用や参考書の活用は適切か	-	-	-	-
		ビデオなどの機器使用は適切か	-	-	-	-
		テキストや教材のレベルは適当か	-	-	-	-
	学生の自己評価	内容に興味を持てたか	-	-	-	-
		語学力は身についたか	-	-	-	-
		更に学習する意欲が湧いたか	-	-	-	-
		自分の身体や健康に対する関心が高まったか	4.0	-	4.6	4.1
		運動技能は向上したか	4.0	-	4.1	4.0
		スポーツ(授業を受けた種目)が以前より好きになったか	4.3	-	4.7	4.4
	技能は向上したか	-	-	-	-	
授業に対する姿勢	授業に對する姿勢	授業は時間通りであったか	4.4	-	4.6	4.4
		授業に対する熱意が感じられたか	4.6	-	4.9	4.6
		学習方法などに適切な助言を与えたり、親切に相談にのったか	-	-	-	-
	学個對生々への対応	ものの見方や考え方についても啓発されたか	-	-	-	-
		休講の連絡には十分な配慮がされていたか	4.0	-	4.8	4.1
		休講の補いは充分にされていたか	3.8	-	4.4	3.9
学生の姿勢	学生の人格やプライバシーを尊重していたか	4.4	-	4.8	4.5	
	一人ひとりの学生に対して公平であったか	4.5	-	4.9	4.5	
	学生の名前と顔を覚えていたか	-	-	-	-	
学生の姿勢	学生の姿勢	授業によく出席したか	4.5	-	4.6	4.5
		授業に意欲的に取り組んだか	4.6	-	4.7	4.6
		予習・復習などをしたか	-	-	-	-
総合的な評価は			4.6	-	4.9	4.7

3.6~4.0 4.1以上

nは回答者数を表す

3か年平均は各年度の各項目の評価人数に戻って再計算したもの

IV. 「学生の姿勢」の3カ年比較（+前回3カ年）

1. 自己評価の全授業平均と授業種別平均

「授業によく出席した」・・・4.3ポイント
 「授業に意欲的に取り組んだ」・・・3.7ポイント
 「予習・復習などをした」・・・2.9ポイント

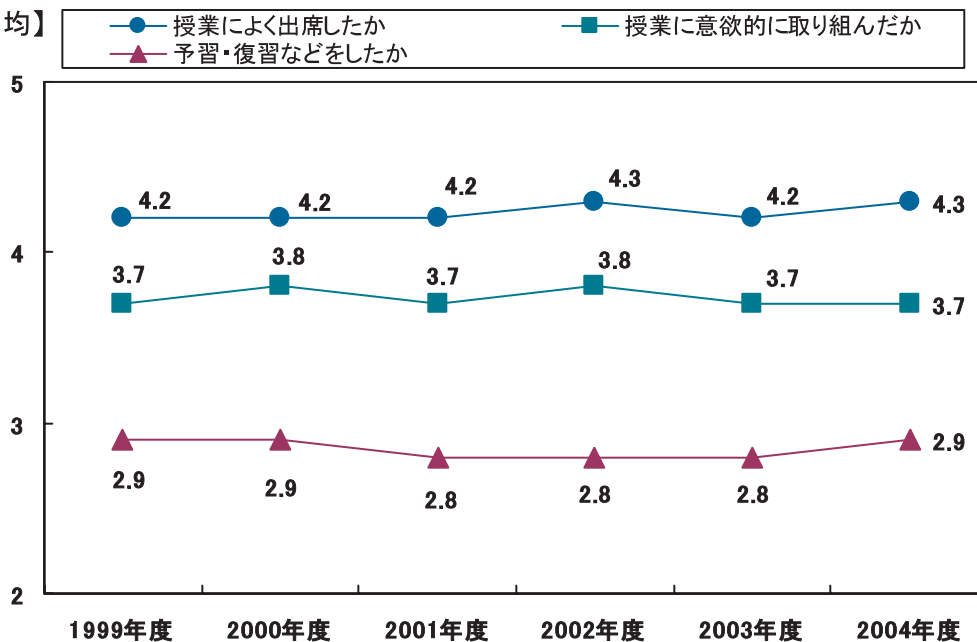
すでに小項目評価で掲載した評価だが、「学生の姿勢」について再掲する。

授業に対する姿勢を「授業によく出席したか」「授業に意欲的に取り組んだか」「予習・復習などをしたか」の3項目について、学生が自己採点した評価結果が以下の通りである。

- ・「授業によく出席したか」は、4.2～4.3ポイントと、ほとんど変動せずに高い評価で推移している。
- ・「授業に意欲的に取り組んだか」は、3.7～3.8ポイントと、これもほとんど変動せずに推移しているが「授業によく出席したか」よりも評価は低く、平均的である。
- ・「予習・復習などをした」は、2.9～2.8ポイントと、これもほとんど変動せずに推移しているが、他の2項目よりも評価はかなり低くなっている。

この傾向は、前回の3カ年も含めた6カ年で比較してもほぼ同様である。授業種別による変動はみられるが、仮に自己評価が控えめであるとしても、全般的にみて予習・復習をする学生が多くないと思われる状況が続いている。学生が主体的に授業に取り組めるような工夫が必要であろう。

【全授業平均】



【講義】	2002年度 (n=2,317)	2003年度 (n=3,937)	2004年度 (n=4,375)
授業によく出席したか	4.3	4.2	4.2
授業に意欲的に取り組んだか	3.7	3.6	3.7
予習・復習などをしたか	2.5	2.6	2.7

【演習】	2002年度 (n=1,312)	2003年度 (n=1,651)	2004年度 (n=1,889)
授業によく出席したか	4.3	4.3	4.3
授業に意欲的に取り組んだか	3.9	3.9	3.8
予習・復習などをしたか	3.2	3.4	3.2

【語学】	2002年度 (n=177)	2003年度 (n=367)	2004年度 (n=433)
授業によく出席したか	4.5	4.2	4.1
授業に意欲的に取り組んだか	3.7	3.5	3.4
予習・復習などをしたか	3.5	3.1	2.9

【実技】	2002年度 (n=217)	2003年度 (n=227)	2004年度 (n=360)
授業によく出席したか	4.4	4.6	4.7
授業に意欲的に取り組んだか	4.2	4.3	4.5
予習・復習などをしたか	3.9	3.1	3.9

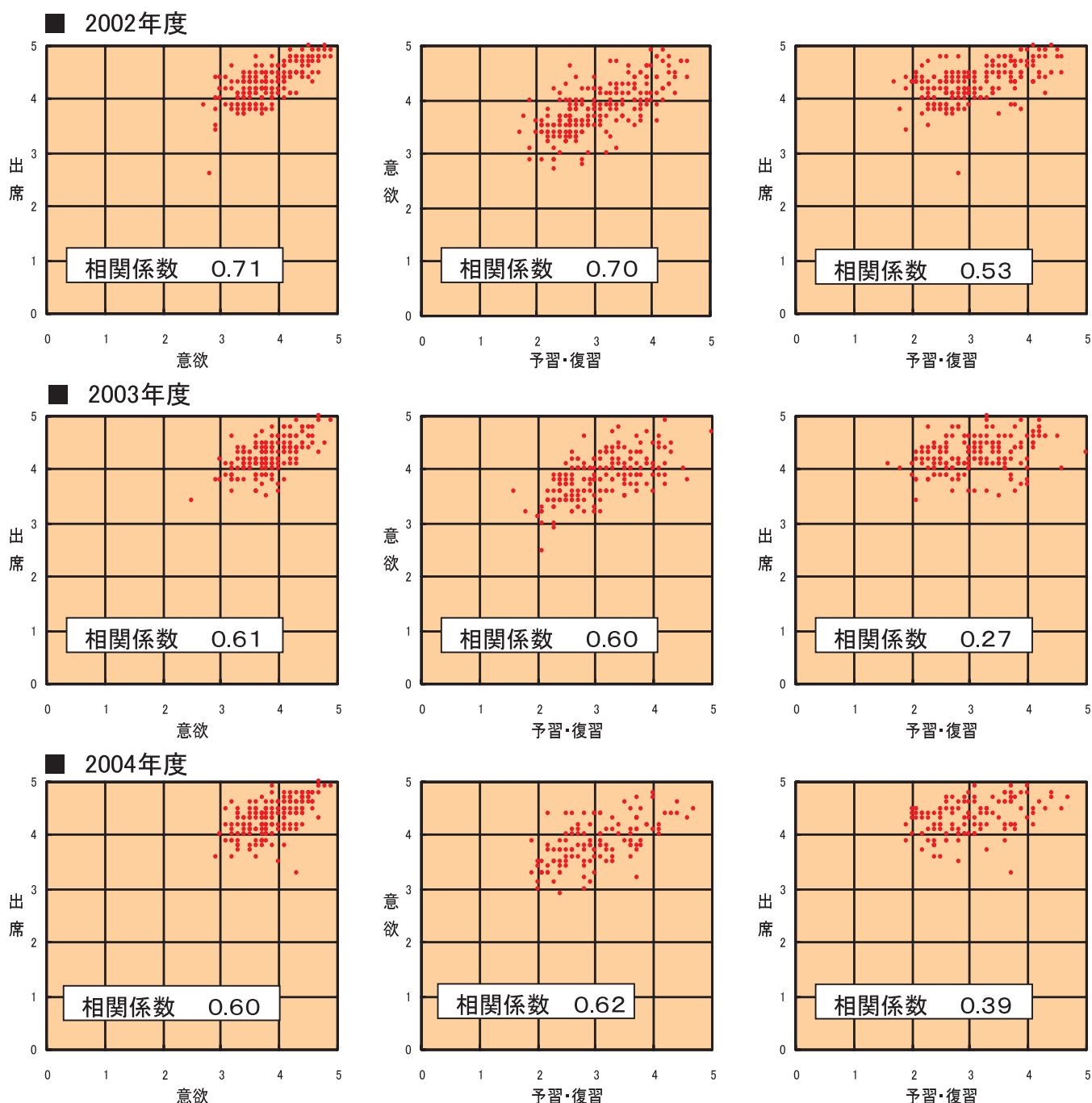
【スポーツ研究】	2002年度 (n=207)	2003年度 (n=0)	2004年度 (n=34)
授業によく出席したか	4.5	-	4.6
授業に意欲的に取り組んだか	4.6	-	4.7
予習・復習などをしたか	-	-	-

nは回答者数を表す

2. 意欲・出席・予復習の相関の3カ年比較

【相関係数について】 相関係数とは、 x と y の2量の関係の強さ（ばらつきの度合い）を表す数値で、 -1 と 1 の間の値をとる。相関係数と相関の度合いの関係は明確に決まっているわけではないが、以下のような目安がある。相関係数の絶対値が 0.7 以上のときは、強い相関がある。相関係数の絶対値が 0.3 以上で 0.7 未満のときは、弱い相関がある。相関係数の絶対値が 0.3 未満のときは、非常に弱い相関がある。（または相関なし。）

3年間に開講された授業について、次の項目間の相関係数の推移をみると、「授業によく出席したか」と「授業に意欲的に取り組んだか」および「授業に意欲的に取り組んだか」と「予習・復習などをした」については、ともに2002年度には強い相関があったが、2003年度以降は弱い相関があるに変わった。「授業によく出席したか」と「予習・復習などをした」については2002年度には弱い相関があったが、2003年度にいったん相関がなくなり、2004年度も以前より弱い相関しかない。この傾向から推察すると、授業の出席率が高い学生は勉学意欲が高い、勉学意欲が高い学生は予習・復習をよくするとはいえるが、授業の出席率が高い学生が予習・復習をよくするとは、必ずしもいえない。



※スポーツ研究科目は予習・復習に関する項目がないため、スポーツ研究科目以外の全授業を対象としている。
 ※個人が単位ではなく、各授業を1単位としたグラフである。

V. 総合的評価と各項目との関係

1. 2004年度の結果

総合的評価と相関の高い項目（授業種別）

授業種別に総合的評価と各小項目の相関をまとめたものが下表である。（表は2004年度のみ）

授業種別により調査項目に若干の異同があるが、共通して総合的評価と相関が強い項目は「説明が充分で理解しやすかったか」「興味が持てるように配慮されていたか」「話し方は明瞭でわかりやすかったか」の3項目である。これらの項目は授業種別に拘わらず、総合的な満足度と非常に強く関連しているといえる。

また授業種別に拘わらず「授業によく出席したか」は、総合的評価と相関が強い。「授業によく出席したか」と総合的な満足度とは、あまり関係がないようだ。

<授業種別相関表>

は相関係数0.90以上
は相関係数0.80未満
は相関係数0.80以上0.90未満
- は質問事項なし

	講義 (N=95)	演習 (N=90)	語学 (N=13)	実技 (N=12)	※1 スポーツ研究 (N=6)	※2 全授業合計 (N=210)
シラバスに沿って進められたか	0.67	0.54	0.61	0.82	-	0.62
説明が充分で理解しやすかったか	0.92	0.84	0.95	0.94	0.21	0.90
興味が持てるように配慮がされていたか	0.94	0.83	0.93	-	0.08	0.90
話し方は明瞭でわかりやすかったか	0.86	0.82	0.95	0.87	-	0.87
私語の注意など、授業の雰囲気づくりに配慮がされていたか	0.51	-	0.82	0.74	-	0.58
授業に積極的に参加できる雰囲気がつくられていたか	0.88	0.77	0.89	0.88	0.53	0.86
授業の進行や時間配分は適切か	0.63	-	0.79	0.85	0.63	0.69
レポート・論文作成などの指導は適切か	-	0.74	-	-	-	0.74
意見発表や意見交換の場であったか	-	0.69	-	-	-	0.69
学生の語学力に配慮した指導がされていたか	-	-	0.76	-	-	0.76
学生の体力や技術を把握した上で指導がされたか	-	-	-	-	0.88	-
安全面における配慮は十分にされていたか	-	-	-	-	0.80	-
他者と協力して授業に参加するよう配慮されていたか	-	-	-	-	0.61	-
運動量は満足できたか	-	-	-	-	0.53	-
技術習得への十分な配慮がされていたか	-	-	-	0.97	-	0.97
与えられた課題の量は適切か	-	-	-	0.86	-	0.86
板書は読みやすく丁寧に書かれていたか	0.67	0.60	0.31	0.51	-	0.61
テキストの使用や参考書の活用は適切か	0.73	0.47	0.73	0.37	-	0.58
ビデオなどの機器使用は適切か	0.23	-	0.38	-	-	0.27
テキストや教材のレベルは適切か	-	-	0.49	0.83	-	0.75
内容に興味が持てたか	0.90	0.79	0.92	0.86	-	0.88
語学力は身についたか	-	-	0.89	-	-	0.89
更に学習する意欲が湧いたか	-	-	0.79	-	-	0.79
自分の身体や健康に対する関心が高まったか	-	-	-	-	-0.27	-
運動技能は向上したか	-	-	-	-	-0.15	-
スポーツ(授業を受けた種目)が以前より好きになったか	-	-	-	-	-0.51	-
技能は向上したか	-	-	-	0.89	-	0.89
授業は時間通りであったか	0.53	0.38	0.56	0.20	0.26	0.48
授業に対する熱意が感じられたか	0.79	0.72	0.86	0.89	0.43	0.79
学習方法などに適切な助言を与えたり、親切に相談にのったか	0.83	0.77	0.89	0.91	-	0.83
ものの見方や考え方についても啓発されたか	0.83	0.68	0.82	-	-	0.78
休講の連絡には十分な配慮がされていたか	0.61	0.59	0.70	0.71	0.07	0.65
休講の補いは十分にされていたか	0.69	0.71	0.80	0.77	0.67	0.74
学生の人格やプライバシーを尊重していたか	0.80	0.77	0.71	0.91	-0.04	0.81
一人ひとりの学生に対して公平であったか	0.71	0.78	0.58	0.92	0.14	0.76
学生の名前と顔を覚えていたか	-	0.57	-	-	-	0.57
授業によく出席したか	0.46	0.43	0.47	0.65	0.48	0.51
授業に意欲的に取り組んだか	0.83	0.74	0.74	0.84	0.89	0.82
予習・復習などをしたか	0.53	0.45	0.53	0.54	-	0.54

※1 スポーツ研究は2004年度はN=2のため、2002年度調査結果の相関係数を表示。

※2 全授業合計は「講義」「演習」「語学」「実技」のデータを合計して相関係数を算出。「スポーツ研究」を含まず。

Nは授業数を表す

授業により評価人数は異なる

2. 3カ年比較（講義科目・演習科目・語学科目）

※実技科目、スポーツ研究科目については、サンプル数（授業数）が少ないので割愛

i 講義科目

講義科目で総合的評価と最も相関が強い項目は、
「興味が持てるように配慮されていたか」（3カ年合計）

講義科目で総合的評価と相関の強い項目を挙げると、3カ年合計で相関係数0.90以上の項目は「説明が充分で理解しやすかったか」「興味が持てるように配慮されていたか」の「授業の進め方」（中項目）の2項目であり、「授業の進め方」（中項目）と総合的評価との相関の強さが窺われる。

この2項目に続く相関係数0.80以上の項目として「話し方は明瞭でわかりやすかったか」「内容に興味を持てたか」「授業に意欲的に取り組んだか」の3項目が挙がる。これら合計5項目と総合的評価とに強い相関がみられることから、大規模クラスとなりやすい講義科目にとって、いかにして学生に授業内容に興味を持たせるか、さまざまな工夫が必要であることが浮かび上がってくる。

【講義】

■ は相関係数0.90以上
■ は相関係数0.80以上0.90未満
■ は相関係数0.80未満

	2002年度 (N=50)	2003年度 (N=78)	2004年度 (N=95)	※1 3カ年合計 (N=223)
シラバスに沿って進められたか	0.71	0.61	0.67	0.65
説明が充分で理解しやすかったか	0.92	0.89	0.92	0.91
興味が持てるように配慮がされていたか	0.90	0.94	0.94	0.92
話し方は明瞭でわかりやすかったか	0.94	0.89	0.86	0.88
私語の注意など、授業の雰囲気づくりに配慮がされていたか	0.87	0.48	0.51	0.58
授業に積極的に参加できる雰囲気がつくられていたか	0.59	0.82	0.88	0.79
授業の進行や時間配分は適切か	0.43	0.65	0.63	0.59
板書は読みやすく丁寧に書かれていたか	0.81	0.63	0.67	0.68
テキストの使用や参考書の活用は適切か	0.62	0.76	0.73	0.72
ビデオなどの機器使用は適切か	0.20	0.28	0.23	0.24
内容に興味を持てたか	0.67	0.89	0.90	0.85
授業は時間通りであったか	0.44	0.48	0.53	0.49
授業に対する熱意が感じられたか	0.69	0.82	0.79	0.78
学習方法などに適切な助言を与えたり、親切に相談にのったか	0.65	0.81	0.83	0.75
ものの見方や考え方についても啓発されたか	0.48	0.84	0.83	0.76
休講の連絡には十分な配慮がされていたか	0.81	0.51	0.61	0.60
休講の補いは十分にされていたか	0.80	0.68	0.69	0.69
学生の人格やプライバシーを尊重していたか	0.68	0.74	0.80	0.75
一人ひとりの学生に対して公平であったか	0.60	0.68	0.71	0.62
授業によく出席したか	0.50	0.48	0.46	0.47
授業に意欲的に取り組んだか	0.79	0.84	0.83	0.82
予習・復習などをしたか	0.46	0.54	0.53	0.51

※1 3カ年合計は2002年度～2004年度のデータを合計して相関係数を算出。

Nは授業数を表す

授業により評価人数は異なる

ii 演習科目

演習科目でも総合的評価と最も相関が強い項目は、
「興味が持てるように配慮されていたか」（3カ年合計）

演習科目で総合的評価と相関の強い項目を挙げると、3カ年合計で相関係数0.80以上の項目は「説明が充分で理解しやすかったか」「興味が持てるように配慮されていたか」「話し方は明瞭でわかりやすかったか」の、何れも「授業の進め方」（中項目）の3項目であり、講義科目の場合と同一である。ただし、何れも講義科目より相関係数が低い。

他に3カ年合計で相関係数0.70以上の項目が6項目あるが、そのうち2項目がやはり「授業の進め方」（中項目）の項目である。演習科目では総合的評価と相関の強い項目9項目のうち、過半数に当たる5項目が「授業の進め方」（中項目）の項目であることから、演習科目には、「授業の進め方」（中項目）と総合的評価とに強い相関があるようだ。

【演習】

は相関係数0.90以上
 は相関係数0.80以上0.90未満
 は相関係数0.80未満

	2002年度 (N=55)	2003年度 (N=77)	2004年度 (N=90)	※1 3カ年合計 (N=222)
シラバスに沿って進められたか	0.51	0.56	0.54	0.54
説明が充分で理解しやすかったか	0.75	0.82	0.84	0.80
興味が持てるように配慮がされていたか	0.79	0.89	0.83	0.84
話し方は明瞭でわかりやすかったか	0.87	0.73	0.82	0.80
授業に積極的に参加できる雰囲気がつくられていたか	0.75	0.83	0.77	0.76
レポート・論文作成などの指導は適切か	0.38	0.62	0.74	0.60
意見発表や意見交換の場であったか	0.78	0.81	0.69	0.73
板書は読みやすく丁寧に書かれていたか	0.53	0.47	0.60	0.53
テキストの使用や参考書の活用は適切か	0.20	0.48	0.47	0.40
内容に興味が持てたか	0.42	0.88	0.79	0.75
授業は時間通りであったか	0.63	0.37	0.38	0.45
授業に対する熱意が感じられたか	0.51	0.77	0.72	0.58
学習方法などに適切な助言を与えたり、親切に相談にのったか	0.48	0.79	0.77	0.65
ものの見方や考え方についても啓発されたか	0.79	0.76	0.68	0.71
休講の連絡には十分な配慮がされていたか	0.78	0.60	0.59	0.63
休講の補いは十分にされていたか	0.57	0.62	0.71	0.61
学生の人格やプライバシーを尊重していたか	0.76	0.71	0.77	0.74
一人ひとりの学生に対して公平であったか	0.36	0.71	0.78	0.64
学生の名前と顔を覚えていたか	0.49	0.59	0.57	0.55
授業によく出席したか	0.42	0.25	0.43	0.36
授業に意欲的に取り組んだか	0.70	0.76	0.74	0.74
予習・復習などをしたか	0.40	0.35	0.45	0.42

※1 3カ年合計は2002年度～2004年度のデータを合計して相関係数を算出。

Nは授業数を表す

授業により評価人数は異なる

iii 語学科目

語学科目で総合的評価と最も相関が強い項目は4項目

語学科目では総合的評価と相関の強い項目として、3ヵ年合計で相関係数0.90ポイント以上の項目として、「説明が充分で理解しやすかったか」「興味が持てるように配慮されていたか」「話し方は明瞭でわかりやすかったか」の「授業の進め方」（中項目）の3項目と、「内容に興味が持てたか」（「学生の自己評価」（中項目））との合計4項目が挙がる。

さらにその他に3ヵ年合計で相関係数0.80以上の項目が6項目ある。講義科目、演習科目と比較して、語学科目は、項目の一つひとつに総合的評価との強い相関があるようだ。

【語学】

は相関係数0.90以上
 は相関係数0.80以上0.90未満
 は相関係数0.80未満

	2002年度 (N=8)	2003年度 (N=13)	2004年度 (N=13)	※1 3ヵ年合計 (N=34)
シラバスに沿って進められたか	0.86	0.76	0.61	0.74
説明が充分で理解しやすかったか	0.89	0.86	0.95	0.92
興味が持てるように配慮がされていたか	0.96	0.85	0.93	0.90
話し方は明瞭でわかりやすかったか	0.84	0.93	0.95	0.91
私語の注意など、授業の雰囲気づくりに配慮がされていたか	0.73	0.67	0.82	0.73
授業に積極的に参加できる雰囲気がつくられていたか	0.69	0.92	0.89	0.85
授業の進行や時間配分は適切か	0.59	0.85	0.79	0.79
学生の語学力に配慮した指導がされていたか	0.90	0.87	0.76	0.85
板書は読みやすく丁寧に書かれていたか	0.90	0.40	0.31	0.55
テキストの使用や参考書の活用は適切か	0.78	0.77	0.73	0.41
ビデオなどの機器使用は適切か	0.87	0.22	0.38	0.50
テキストや教材のレベルは適当か	0.34	0.76	0.49	0.64
内容に興味が持てたか	0.92	0.90	0.92	0.90
語学力は身についたか	0.95	0.69	0.89	0.85
更に学習する意欲が湧いたか	0.82	0.54	0.79	0.74
授業は時間通りであったか	0.87	0.67	0.56	0.54
授業に対する熱意が感じられたか	0.88	0.87	0.86	0.88
学習方法などに適切な助言を与えたり、親切に相談にのったか	0.92	0.83	0.89	0.88
ものの見方や考え方についても啓発されたか	0.91	0.76	0.82	0.78
休講の連絡には十分な配慮がされていたか	0.92	0.56	0.70	0.71
休講の補いは十分にされていたか	0.76	0.79	0.80	0.75
学生の人格やプライバシーを尊重していたか	0.41	0.85	0.71	0.74
一人ひとりの学生に対して公平であったか	0.68	0.81	0.58	0.65
授業によく出席したか	0.51	0.48	0.47	0.54
授業に意欲的に取り組んだか	0.87	0.85	0.74	0.80
予習・復習などをしたか	0.67	0.42	0.53	0.61

※1 3ヵ年合計は2002年度～2004年度のデータを合計して相関係数を算出。

Nは授業数を表す

授業により評価人数は異なる

VI. アンケート回収率の3ヵ年比較

1. 授業種別

2004年度のアンケート回収率は全授業平均で63.3%となり、3ヵ年比較で最も高くなった。授業種別では、講義科目で58.7%と6割を下回ったが、その他の4授業種別では何れも7割以上の回収率となっている。3ヵ年の回収率の推移を全授業平均でみると、2002年度の55.1%から2004年度の63.3%へと上昇しており、学生は以前よりも授業によく出席するようになったと考えられる。

■ 2002年度

	N	全体			短期大学部			文学部			大学院		
		登録者	回答者	回収率	登録者	回答者	回収率	登録者	回答者	回収率	登録者	回答者	回収率
全授業	N=126	7,679	4,230	55.1%	1,264	906	71.7%	6,320	3,270	51.7%	95	54	56.8%
講義	N=50	4,611	2,317	50.2%	649	476	73.3%	3,932	1,826	46.4%	30	15	50.0%
演習	N=55	2,266	1,312	57.9%	326	170	52.1%	1,875	1,103	58.8%	65	39	60.0%
語学	N=8	281	177	63.0%	0	0	0.0%	281	177	63.0%	0	0	0.0%
実技	N=7	274	217	79.2%	200	174	87.0%	74	43	58.1%	0	0	0.0%
スポーツ研究	N=6	247	207	83.8%	89	86	96.6%	158	121	76.6%	0	0	0.0%

■ 2003年度

	N	全体			短期大学部			文学部			大学院		
		登録者	回答者	回収率	登録者	回答者	回収率	登録者	回答者	回収率	登録者	回答者	回収率
全授業	N=175	10,047	6,182	61.5%	1,315	970	73.8%	8,575	5,125	59.8%	157	87	55.4%
講義	N=78	6,694	3,937	58.8%	1,023	738	72.1%	5,584	3,153	56.5%	87	46	52.9%
演習	N=77	2,390	1,651	69.1%	144	123	85.4%	2,176	1,487	68.3%	70	41	58.6%
語学	N=13	653	367	56.2%	90	58	64.4%	563	309	54.9%	0	0	0.0%
実技	N=7	310	227	73.2%	58	51	87.9%	252	176	69.8%	0	0	0.0%
スポーツ研究	N=0	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%

■ 2004年度

	N	全体			短期大学部			文学部			短期大学部+文学部			大学院		
		登録者	回答者	回収率	登録者	回答者	回収率	登録者	回答者	回収率	登録者	回答者	回収率	登録者	回答者	回収率
全授業	N=212	11,210	7,091	63.3%	1,919	1,573	82.0%	8,396	5,097	60.7%	630	307	48.7%	265	114	43.0%
講義	N=95	7,455	4,375	58.7%	1,241	1,008	81.2%	5,514	3,080	55.9%	470	194	41.3%	230	93	40.4%
演習	N=90	2,700	1,889	70.0%	275	215	78.2%	2,354	1,625	69.0%	36	28	77.8%	35	21	60.0%
語学	N=13	573	433	75.6%	112	88	78.6%	461	345	74.8%	0	0	0.0%	0	0	0.0%
実技	N=12	436	360	82.6%	291	262	90.0%	37	26	70.3%	108	72	66.7%	0	0	0.0%
スポーツ研究	N=2	46	34	73.9%	0	0	0.0%	30	21	70.0%	16	13	81.3%	0	0	0.0%

Nは授業数を表す

2. 講義科目および演習科目のクラス規模（登録者数）別

講義科目と演習科目についてアンケート回収率をクラス規模（登録者数）別にみると、クラス規模が小さくなるほど回収率が高くなる傾向が多くみられ、この状況は3ヵ年とも同じである。登録者数の動向からみても、年々小規模クラスでの受講が増えており、学生が落ち着いて授業を受けられる環境が整備されつつあると言える。

【講義】

■ 2002年度

クラス規模 (登録者数)	全体(n=2,317)		
	登録者	回答者	回収率
1-49	754	524	69.5%
50-99	1,059	597	56.4%
100-149	1,080	435	40.3%
150-199	528	158	29.9%
200-249	929	496	53.4%
250-	261	107	41.0%

■ 2003年度

クラス規模 (登録者数)	全体(n=3,937)		
	登録者	回答者	回収率
1-49	924	677	73.3%
50-99	2,057	1,287	62.6%
100-149	1,245	740	59.4%
150-199	1,000	447	44.7%
200-249	911	445	48.8%
250-	557	341	61.2%

■ 2004年度

クラス規模 (登録者数)	全体(n=4,375)		
	登録者	回答者	回収率
1-49	1,439	1,129	78.5%
50-99	2,089	1,319	63.1%
100-149	1,466	776	52.9%
150-199	1,050	413	39.3%
200-249	1,411	738	52.3%
250-	0	0	0.0%

【演習】

■ 2002年度

クラス規模 (登録者数)	全体(n=1,312)		
	登録者	回答者	回収率
1-49	1,217	850	69.8%
50-99	379	167	44.1%
100-149	271	135	49.8%
150-199	168	49	29.2%
200-249	231	111	48.1%
250-	0	0	0.0%

■ 2003年度

クラス規模 (登録者数)	全体(n=1,651)		
	登録者	回答者	回収率
1-49	1,585	1,173	74.0%
50-99	320	206	64.4%
100-149	485	272	56.1%
150-199	0	0	0.0%
200-249	0	0	0.0%
250-	0	0	0.0%

■ 2004年度

クラス規模 (登録者数)	全体(n=1,889)		
	登録者	回答者	回収率
1-49	1,901	1,428	75.1%
50-99	447	307	68.7%
100-149	352	154	43.8%
150-199	0	0	0.0%
200-249	0	0	0.0%
250-	0	0	0.0%

nは回答者数を表す

●今後に向けて

集計結果を振り返ってみて、改めて感じることは、学生は多くの授業を併行して受ける立場であり、他と比較する材料を常に与え続けられているという意味で、巨視的にみて学生による授業評価には客観性が保証されているということである。

授業担当者には教育研究者としての矜持があり、一方でまた教授する内容に伴い教授方法も変容するであろうが、個人一人ひとりの振り返りにも自ずと限界があろう。

大谷大学自己点検・評価委員会では、教員個人の振り返りに留まらず、組織としての学部・学科の振り返りに寄与する形で授業評価アンケートが実施できるように、現在その見直しを計っているところである。折から、2005年度の新入生から、教務委員会における数年間におよぶ検討・準備期間を経た新カリキュラムが、満を持して開始された。それらの成果は今後の調査に反映される筈である。

「学生の自己評価」に関する質問は、学生諸君の受講した成果を確認する項目で構成しています。

大学で開講される授業科目は、受講者自身が成果を実感することで完結します。例えば、「授業の進め方」に関する質問や、「補助手段の活用」に関する質問について高い評価であっても、「学生の自己評価」が低い数値であれば、その授業には何らかの改善点があるのだ、というように利用されます。

b. 教員の授業に対する姿勢に関する事項

「教員の授業に対する姿勢に関する事項」は、「授業に対する姿勢」に関する質問と、「個々の学生への対応」に関する質問で構成されます。

大学での授業は、教室の中で知識を伝授するだけにとどまりません。「授業に対する姿勢」に関する質問では、授業にかかわる教員の姿勢を自己点検することを目的に設定されています。

また、「個々の学生への対応」に関する質問は、学生諸君のプライバシーの保護と公平な対応を中心に確認をしています。

c. 学生の授業に対する取り組みに関する事項

自己点検・評価委員会では、大学の授業は教員と学生の共同作業であると位置づけています。ですから、授業をより良くすることは教員だけの努力によって実現するものではなく、受講者との共同作業によって実現するものと考えます。

「学生の授業に対する取り組みに関する事項」では、受講者のプロフィールを確認するとともに、出席、授業への意欲、予習や復習といった具体的な行動の3点について、学生諸君の自己点検についての質問項目を設定しました。

d. 総合評価

以上の3つの事項についての個別事項に対する評価をふまえて、授業への総合評価について質問を設定しました。総合評価は、受講者の授業に対する満足度につながる指標と考えられます。

e. 自由記述

事前に設定された質問項目以外に、受講者の意見・感想を今後の授業にいかしていくために、自由記述欄を設定しました。

● 語学用調査票

語学

ご回答は、別紙回答用紙にて記入ください。

1. 以下の質問にお答えください。
回答は、5を5回～ 1を1回思わないの中から1つお選びいただき、別紙回答用紙 内に、○印をお書きください。

	5 とても 多い	4 やや多い	3 普通	2 やや少ない	1 とても 少ない
1. 授業は、授業概要（シラバス）に沿って進められましたか	5	4	3	2	1
2. 授業は、説明が充分で理解しやすかったですか	5	4	3	2	1
3. 授業の内容は、興味を持てるものでしたか	5	4	3	2	1
4. 授業の進め方は、学生が興味を持てるように配慮がされていましたか	5	4	3	2	1
5. 教員の話し方は、明確でわかりやすかったですか	5	4	3	2	1
6. 板書は、読みやす丁寧に書かれていますか	5	4	3	2	1
7. 私語を注意するなど、授業の雰囲気づくりに配慮がされていましたか	5	4	3	2	1
8. 学生が、授業に積極的に参加できる雰囲気がつくられていましたか	5	4	3	2	1
9. テキストの使用や参考書の活用は、適切でしたか	5	4	3	2	1
10. ビデオやスライドなどの動画使用は、適切に行われていましたか	5	4	3	2	1
11. 授業の進行や時間配分は、適切でしたか	5	4	3	2	1
12. 授業は、時間通り始まり、時間通り終わりましたか	5	4	3	2	1
13. テキストや教材のレベルは、適当でしたか	5	4	3	2	1
14. 学生の語学力に配慮した指導がなされていましたか	5	4	3	2	1
15. 授業を通じて、語学力はあなたの身につきましたか	5	4	3	2	1
16. 授業で学んだ語学を更に学習しようとする意欲が湧いてきましたか	5	4	3	2	1
17. 教員の授業に対する取り組みには、敬意が感じられましたか	5	4	3	2	1
18. 教員は、学生の人格やプライバシーを尊重していましたか	5	4	3	2	1
19. 教員は、一人ひとりの学生に対して公平でしたか	5	4	3	2	1
20. 教員は、学習方法などについて、適切な助言を与えたり親切に相談のつてくれましたか	5	4	3	2	1
21. 授業では、知識を得るばかりでなくもの見方や考え方についても習得できましたか	5	4	3	2	1
22. 休講があった場合、休講の連絡には十分な配慮がされていましたか	5	4	3	2	1
23. 休講があった場合、その補いは充分にされていましたか	5	4	3	2	1
24. あなたは、この授業により出席しましたか	5	4	3	2	1
25. あなたは、この授業に意欲的に取り組めましたか	5	4	3	2	1
26. あなたは、この授業に関して予習 復習などをしましたか	5	4	3	2	1
27. この授業は、総合的に見て高く評価できると感じますか	5	4	3	2	1
a	5	4	3	2	1
b	5	4	3	2	1
c	5	4	3	2	1
d	5	4	3	2	1
e	5	4	3	2	1

II. この授業に関する感想や意見を、お聞かせください。
ご協力ありがとうございます。

● 実技用調査票

実技

ご回答は、別紙回答用紙にて記入ください。

1. 以下の質問にお答えください。
回答は、5を5回～ 1を1回思わないの中から1つお選びいただき、別紙回答用紙 内に、○印をお書きください。

	5 とても 多い	4 やや多い	3 普通	2 やや少ない	1 とても 少ない
1. 授業は、授業概要（シラバス）に沿って進められましたか	5	4	3	2	1
2. 授業は、説明が充分で理解しやすかったですか	5	4	3	2	1
3. 授業の内容は、興味を持てるものでしたか	5	4	3	2	1
4. 教員の話し方は、明確でわかりやすかったですか	5	4	3	2	1
5. 板書は、読みやす丁寧に書かれていますか	5	4	3	2	1
6. 私語を注意するなど、授業の雰囲気づくりに配慮がされていましたか	5	4	3	2	1
7. 学生が、授業に積極的に参加できる雰囲気がつくられていましたか	5	4	3	2	1
8. テキストの使用や参考書の活用は、適切でしたか	5	4	3	2	1
9. 授業の進行や時間配分は、適切でしたか	5	4	3	2	1
10. 授業は、時間通り始まり、時間通り終わりましたか	5	4	3	2	1
11. テキストや教材のレベルは、適当でしたか	5	4	3	2	1
12. この授業では、技術を習得するための十分な配慮がされていましたか	5	4	3	2	1
13. 与えられた課題の量は、適当でしたか	5	4	3	2	1
14. 授業に関するあなたの技術は、向上しましたか	5	4	3	2	1
15. 授業は、学習方法などについて、適切な助言を与えたり親切に相談のつてくれましたか	5	4	3	2	1
16. 教員の授業に対する取り組みには、敬意が感じられましたか	5	4	3	2	1
17. 教員は、学生の人格やプライバシーを尊重していましたか	5	4	3	2	1
18. 教員は、一人ひとりの学生に対して公平でしたか	5	4	3	2	1
19. 休講があった場合、休講の連絡には十分な配慮がされていましたか	5	4	3	2	1
20. 休講があった場合、その補いは充分にされていましたか	5	4	3	2	1
21. あなたは、この授業により出席しましたか	5	4	3	2	1
22. あなたは、この授業に意欲的に取り組めましたか	5	4	3	2	1
23. あなたは、この授業に関して予習 復習などをしましたか	5	4	3	2	1
24. この授業は、総合的に見て高く評価できると感じますか	5	4	3	2	1
a	5	4	3	2	1
b	5	4	3	2	1
c	5	4	3	2	1
d	5	4	3	2	1
e	5	4	3	2	1

II. この授業に関する感想や意見を、お聞かせください。
ご協力ありがとうございます。

質問項目と分類

a. 授業に関する事項

<授業の進め方>

シラバスに沿って進められたか／説明が充分で理解しやすかったか／興味が持てるように配慮がされていたか／話し方は明瞭でわかりやすかったか／私語の注意など、授業の雰囲気づくりに配慮がされていたか／授業に積極的に参加できる雰囲気がつくられていたか／授業の進行や時間配分は適切か／レポート・論文作成などの指導は適切か／意見発表や意見交換の場であったか／学生の語学力に配慮した指導がされていたか／学生の体力や技術を把握した上で指導がされたか／安全面における配慮は充分にされていたか／他者と協力して授業に参加するよう配慮されていたか／運動量は満足できたか／技術習得への十分な配慮がされていたか／与えられた課題の量は適当か

<補助手段の活用>

板書は読みやすく丁寧に書かれていたか／テキストの使用や参考書の活用は適切か／ビデオなどの機器使用は適切か／テキストや教材のレベルは適当か

<学生の自己評価>

内容に興味を持てたか／語学力は身についたか／更に学習する意欲が湧いたか／自分の身体や健康に対する関心が以前より高まったか／運動技能は向上したか／スポーツ(授業を受けた種目)が以前より好きになったか／技能は向上したか

b. 教員の授業に対する姿勢に関する事項

<授業に対する姿勢>

授業は時間通りであったか／授業に対する熱意が感じられたか／学習方法などに適切な助言を与えたり、親切に相談にのったか／ものの見方や考え方についても啓発されたか／休講の連絡には十分な配慮がされていたか／休講の補いは充分にされていたか

<個々の学生への対応>

学生の人格やプライバシーを尊重していたか／一人ひとりの学生に対して公平であったか／学生の名前と顔を覚えていたか

c. 学生の授業に対する取り組みに関する事項

授業によく出席したか／授業に意欲的に取り組んだか／予習・復習などをしたか

d. 総合的な評価

この授業は、総合的に見て高く評価できると思いますか

●スポーツ研究用調査票

スポーツ研究

ご回答は、別紙回答用紙にご記入ください。

1. 以下の質問にお答えください。
回答は「5 そう思う～1 そう思わない」の中から1つ選びいただき、別紙回答用紙 □ 内に、○印をお書きください。

	5	4	3	2	1
5 とても 思う					
4 思う					
3 どちら か思う					
2 あまり 思わ ない					
1 思わ ない					
1. 授業は、説明が充分で理解しやすかったですか	5	4	3	2	1
2. 授業の進め方は、学生が興味を持てるように配慮がされていましたか	5	4	3	2	1
3. 学生が、授業に積極的に参加できる雰囲気がつくられていましたか	5	4	3	2	1
4. 授業の進行や時間配分は、適切でしたか	5	4	3	2	1
5. 授業は、前問通り始まり 前問通り終わりましたか	5	4	3	2	1
6. 学生の体力や技術を把握した上での指導がされていますか	5	4	3	2	1
7. 安全面における配慮は、充分にされていますか	5	4	3	2	1
8. 授業では、他者と協力して授業に参加するように配慮がされていますか	5	4	3	2	1
9. 授業での運動量は、満足できるものでしたか	5	4	3	2	1
10. 授業を受けて、自分の身体や健康に対する関心が以前より高まりましたか	5	4	3	2	1
11. 授業に関するあなたの運動技術は向上しましたか	5	4	3	2	1
12. スポーツ 授業を受けた種目) をすること、以前より好きになりましたか	5	4	3	2	1
13. 教員の授業に対する取り組みには、熱意が感じられましたか	5	4	3	2	1
14. 教員は、学生の人格やプライバシーを尊重していましたか	5	4	3	2	1
15. 教員は、一人ひとりの学生に対して公平でしたか	5	4	3	2	1
16. 体験があった場合、体験の連絡には充分な配慮がされていますか	5	4	3	2	1
17. 体験があった場合、その補いは充分にされていますか	5	4	3	2	1
18. あなたは、この授業によく出席しましたか	5	4	3	2	1
19. あなたは、この授業に意欲的に取り組まれましたか	5	4	3	2	1
20. この授業は、総合的に見て高く評価できると思いますか	5	4	3	2	1
a	5	4	3	2	1
b	5	4	3	2	1
c	5	4	3	2	1
d	5	4	3	2	1
e	5	4	3	2	1

II. この授業に関する感想や意見を、お聞かせください。
ご協力ありがとうございました。

●回答票

回答用紙

ご記入例

5	4	3	2	1
			○	

【注意】
1. この用紙は、電算処理しますので汚したり、曲げたりしないでください。
2. 「○」印は、必ず鉛筆(HB以上)で枠内にお書きください。
3. 訂正箇所は、消しゴムできれいに消してください。

I. 回答は「5 そう思う～1 そう思わない」の中から選びいただき、「○」印を枠内にお書きください。

1	5 4 3 2 1	11	5 4 3 2 1	21	5 4 3 2 1	a	5 4 3 2 1
	□ □ □ □ □		□ □ □ □ □		□ □ □ □ □		□ □ □ □ □
2	5 4 3 2 1	12	5 4 3 2 1	22	5 4 3 2 1	b	5 4 3 2 1
	□ □ □ □ □		□ □ □ □ □		□ □ □ □ □		□ □ □ □ □
3	5 4 3 2 1	13	5 4 3 2 1	23	5 4 3 2 1	c	5 4 3 2 1
	□ □ □ □ □		□ □ □ □ □		□ □ □ □ □		□ □ □ □ □
4	5 4 3 2 1	14	5 4 3 2 1	24	5 4 3 2 1	d	5 4 3 2 1
	□ □ □ □ □		□ □ □ □ □		□ □ □ □ □		□ □ □ □ □
5	5 4 3 2 1	15	5 4 3 2 1	25	5 4 3 2 1	e	5 4 3 2 1
	□ □ □ □ □		□ □ □ □ □		□ □ □ □ □		□ □ □ □ □
6	5 4 3 2 1	16	5 4 3 2 1	26	5 4 3 2 1		□ □ □ □ □
	□ □ □ □ □		□ □ □ □ □		□ □ □ □ □		□ □ □ □ □
7	5 4 3 2 1	17	5 4 3 2 1	27	5 4 3 2 1		□ □ □ □ □
	□ □ □ □ □		□ □ □ □ □		□ □ □ □ □		□ □ □ □ □
8	5 4 3 2 1	18	5 4 3 2 1				□ □ □ □ □
	□ □ □ □ □		□ □ □ □ □				□ □ □ □ □
9	5 4 3 2 1	19	5 4 3 2 1				□ □ □ □ □
	□ □ □ □ □		□ □ □ □ □				□ □ □ □ □
10	5 4 3 2 1	20	5 4 3 2 1				□ □ □ □ □
	□ □ □ □ □		□ □ □ □ □				□ □ □ □ □

※各科目群で、上記のアンケート項目数は次のようになります。
間違いないようにご回答ください。
演習—23まで 語学—27まで 講義—23まで 実技—24まで スポ研—20まで

II. この授業に関する感想や意見を、お聞かせください。

あなたの学年に「○」印をご記入ください。

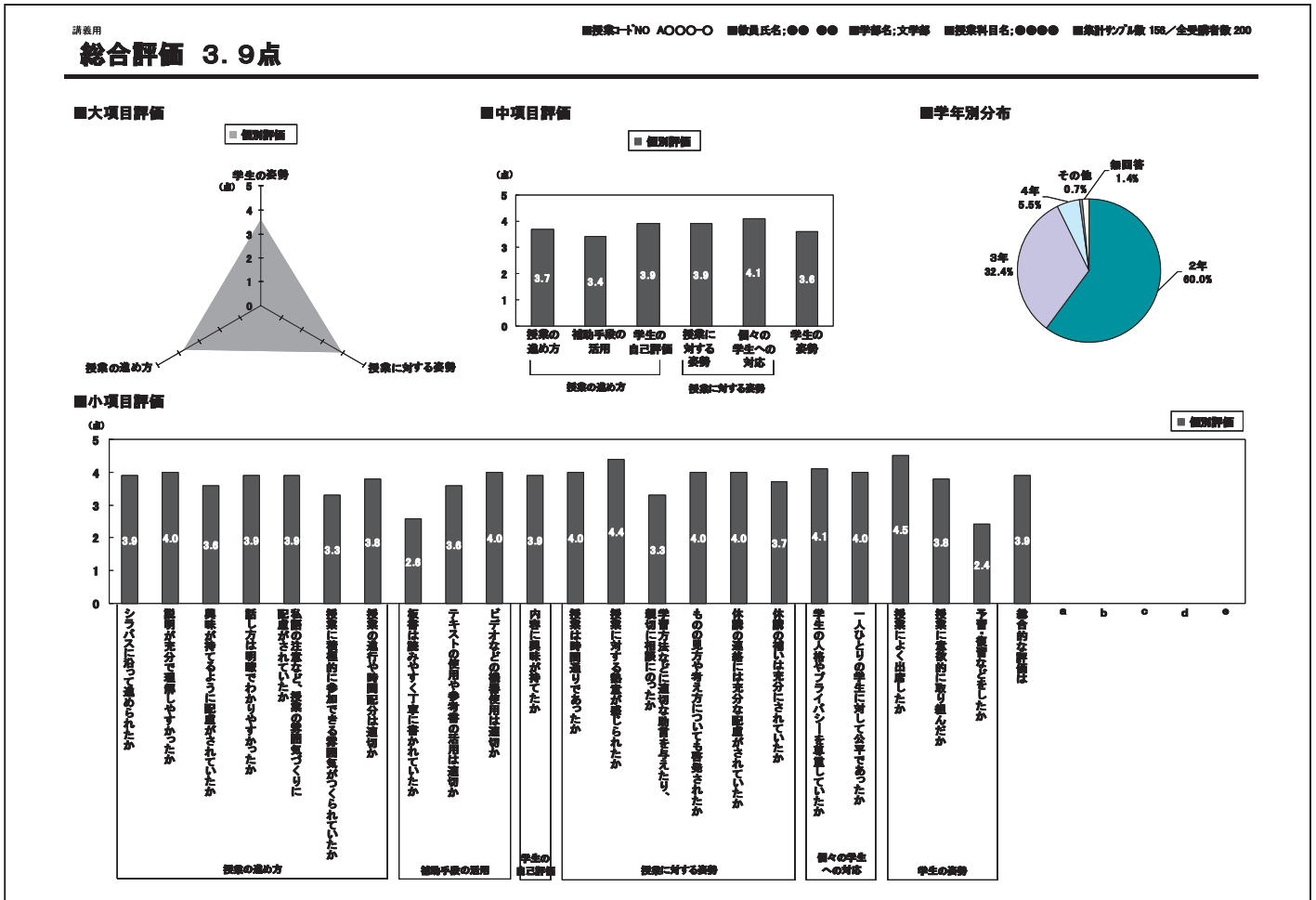
第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 その他

ご協力ありがとうございました

授業コード
(この欄には記入しないでください)

授業担当教員への報告

学生諸君の回答は授業ごとに集計し、各授業担当教員に報告されました。各報告書では、それぞれの項目ごとの個別評価が掲載され、それぞれの授業の到達点が一望できます。報告書は、学生諸君には公開されていませんが、例示された報告書をとおして、どのように授業に活かされていくのかを感じ取っていただければと思います。なお、報告書右下のaからeの項目は、空欄となっておりますが、これは担当教員が独自に設定する調査項目の報告欄です。



■授業コード NO ○○○○

■教員氏名 ●●●●

■学部名 文学部

■科目群 学科指定科目

■授業科目名 ●●●●

■集計サンプル数 ■全受講者数△△

サブANO	記載内容	学年
	板書をわかりやすくお願いします。	1
	学生の方を見て講義をしてほしい。	1
	とても勉強になります。先生のものの見方もすごい！	1
	もう少しデジボがよくやってほしい。それからもう少しきれいな字で書いてほしいと思います。	2
	私語はめだつし、途中の出入りも多い。学生自身が注意すべき点だと思うが...	2
	黒板の文字が小さくて、後ろの方からはよく読めなかった。	2
	先生が一生懸命になりすぎて、こちらがついていけないときもあった。	2
	興味のある内容だったが、説明が難しくついていけない。	2
	このままでいいと思うが、私語する人への注意をもっとしてほしい。	2
	自分の考えを押しつけないで、広く聞いてくれたと思う。	2
	語句の説明など、はじめての人でもよくわかったと思う。	3
	赤のチョークを使わねえでください、見にくいです。	3
	もっと先生ご自身の見解も聞いてみたい。	3
	私のとっている授業のベスト5にはいる講義だと思う。	3
	休憩の連絡を忘れないでほしい。	3
	毎回の授業で様々なことが開けてうれい。	4
	熱心だと思う。	4
	この授業は他の授業と比べてやる気になった。	4

●アンケート実施科目一覧

【2002年度後期】

●講義●

保育内容・健康／仏教学概論2／人間学Ⅰ-19b／国際文化講義14／社会教育課題研究／教育課程論／教育指導論A／文化を考えるー伝統と現代Ⅲ-1／哲学概論2／社会学講義15／応用社会学4／応用人類学4／国際文化講義31／社会学共通研究3／社会人類学／現代社会論2／社会学講義13／社会学研究4／東洋史学講義6／真宗学特殊研究Ⅱ(文献研究)／人間学Ⅰ-20b／真宗学講義4／人間学Ⅱ-6／哲学科講義2／社会福祉援助技術各論Ⅱ調査法／社会保障論2／社会福祉原論2／人間学Ⅰ-13b／ドイツ文学講義7／国際文化講義8／仏教学講義14／人間学Ⅰ-9b／保育者論(2-A)／保育者論(2-B)／人間学Ⅱ-18／人間学Ⅰ-6b／造型／図画工作Ⅱ(1-B)／図画工作Ⅱ(1-A)／仏教学講義2／人間学Ⅰ-10b／古文書解読法／東洋史学講義14／倫理学概論2／日本文化概論／文化史概論2／異文化との出会い1／地域文化論／仏教民俗学／日本史学講義6／人間学Ⅰ-22b／精神保健／児童サービス論／国語／資料特論／英文学講義2／比較文化論2／人間学Ⅰ-17b／人間学Ⅰ-23b／英文学概論2／哲学科講義8

●演習●

国文学演習Ⅲ-6b／国文学演習Ⅳ-6b／国文学演習Ⅳ-1b／国文学演習Ⅱ-1b／教行信証演習4／歎異抄演習Ⅱ-2b(2-B)／総合演習3／社会学演習6／社会福祉学演習Ⅱ-1b／教育学演習Ⅳ-2b／日本語表現Ⅰ-3／中国文学演習8／社会学演習12／文化人類学演習2／社会学演習Ⅳ-3b／地域文化演習14／ドイツ語学演習2／日本史学演習Ⅱ-5b／日本史学演習Ⅲ-5b／人文情報学演習Ⅰ-1b／人文情報学演習Ⅱ-2b／人文情報学演習Ⅲ-5b／哲学科演習11／哲学科演習Ⅰ-4b／臨床心理学演習Ⅱ-3b／臨床心理学演習Ⅲ-1b／国際文化演習Ⅰ-3b／外国文化(英語)文献研究1／外国文化(英語)文献研究2／真宗学演習3／国文学演習Ⅱ-3b／日本語表現Ⅰ-1／外国文化(英語)文献研究3／英文学演習Ⅱb／国際文化演習Ⅱ-3b／保育内容・総合表現(2-A)(2-B)／教行信証演習2／哲学科演習16／宗教学概論2／哲学科演習Ⅰ-2b／日本語表現Ⅰ-5／史学演習Ⅰ-2b／史学演習Ⅰ-3b／文化演習Ⅲ-5／哲学科演習Ⅰ-1b／国際文化演習Ⅳ-4b／保育内容・総合表現(2-A)(2-B)／国際文化演習Ⅲ-2b／国際文化演習Ⅳ-2b／仏教学演習Ⅱ-2b／日本史学演習12／東洋史学演習13／日本史学演習Ⅱ-1b／日本史学演習Ⅲ-1b／情報文化演習Ⅲ／英文学演習Ⅲ-1b／英文学演習Ⅳ-1b／国際文化演習Ⅱ-4b／仏教学演習Ⅲ-1b／仏教学演習Ⅳ-1b／仏教学演習Ⅱ-4b／国際文化演習Ⅲ-10b／国際文化演習Ⅳ-10b／国際文化演習Ⅱ-7b

●実習●

臨床心理学実習(グループ)／情報リテラシー23／歌唱法2／音楽Ⅱ(1-A)／音楽Ⅱ(1-B)／音楽Ⅳ(2-B)／音楽Ⅳ(2-A)

●語学●

ドイツ語1-4b／ドイツ語2-4b／ドイツ語1-5b／ドイツ語1(再)2b／ドイツ語Ⅰ-3b／中国語1-18b／英語(総合)1-22b／中国語1-12b

●スポーツ研究●

体育Ⅱ(2-B)／体育Ⅱ(2-A)／スポーツ研究14／スポーツ研究14(互)／スポーツ研究17／スポーツ研究17(互)／スポーツ研究18／スポーツ研究18(互)／スポーツ研究19／スポーツ研究19(互)

【2003年度後期】

●講義●

日本語表現Ⅰ-1／日本語表現Ⅰ-4／仏教学特殊研究Ⅰ(講義)／人間学Ⅰ-9b／仏教学講義4／浄土三部経概説2／人間学Ⅰ-4b／東洋史学概論2／人間学Ⅱ-8／人間学Ⅰ-14b／人間学Ⅰ-16b／人間学Ⅰ-11b／真宗学特殊研究Ⅰ(講義)3／真宗学研究(文献研究)2／人間学Ⅰ-19b／真宗学講義6／人間学Ⅰ-10b／宗教学概論2／日本語表現Ⅰ-5／日本史学概論2／人間学Ⅰ-8b／仏教概説2／東洋史学講義14／国文学概論2／教育課程論／教育方法論2／社会教育課題研究／日本語表現Ⅰ-3／倫理学概論2／社会学講義4／応用社会学4／文化人類学2／国際文化講義28／教育心理学1／日本史学講義12／東洋史学講義8／国際文化講義25／異文化との出会い1／社会学講義2／現代社会論2／社会学研究1／仏教文化特殊研究Ⅰ(講義)2／ドイツ文学講義2／日本民俗学／運動文化と人間／国際文化講義9／国際文化講義26／自然地理学2／地球環境情報／惑星科学2／社会学講義6／応用社会学6／社会学共通研究1／文化を考えるー伝統と現代Ⅲ-1／国際文化講義10／異文化との出会い2／比較文化2／日本仏教史／仏教学とコンピュータ／人間学Ⅰ-22b／家庭と教育／仏教と人間Ⅱ／真宗学講義4／保育内容・言葉(1-B)／保育内容・言葉(1-A)／仮想現実論／人間学Ⅱ-7／視聴覚教育forIT論／真宗学講義17／人間学Ⅰ-3b／真宗学2／仏教学講義8／国際文化講義19／資料特論／英文学講義2／比較文化論2／社会保障論2／社会福祉原論2／社会福祉援助技術各論Ⅱ調査法／人間学Ⅰ-13b／児童福祉／人間学Ⅰ-15b／ドイツ文学講義6／国際文化講義8／人間学Ⅰ-17b／英文学講義8／英文学概論2／仏教学講義14／国際文化講義23／哲学科講義8／情報倫理学

●演習●

文化演習Ⅰ-1／国際文化演習Ⅱ-5b／外国文化(英語)文献研究3／国際文化演習Ⅱ-3b／思考法演習Ⅳ-3／国文学演習Ⅳ-6b／国文学演習Ⅳ-1b／国文学演習Ⅲ-1b／教行信証演習6／真宗学演習9／外国文化(英語)文献研究2／東洋史学演習4／東洋史学演習2／東洋史学演習Ⅱ-1b／Ⅲ-1b／仏教学演習Ⅰ-4b／仏教經典演習Ⅰ-1b(1-A)／仏教学演習Ⅱ-1b／教行信証演習3／仏教学演習Ⅱ-3b／哲学科演習16／哲学科演習Ⅱ-3b／教行信証演習4／真宗学演習Ⅰ-2b／日本史学演習Ⅳ-6b／日本史学演習Ⅱ-6b／Ⅲ-6b／日本史学演習Ⅱ-4b／Ⅲ-4b／史学演習Ⅰ-3b／社会福祉学演習Ⅱ-1b／社会福祉学演習Ⅲ-1b／社会福祉援助技術演習2／中国文学演習Ⅱb／情報文化演習Ⅰ-1／人文情報基礎演習Ⅱ-2／哲学科演習Ⅲ-4b／Ⅳ-4b／哲学科演習Ⅱ-4b／教育学演習Ⅱb／社会学演習Ⅱ-2b／社会学演習Ⅳb／文化人類学演習Ⅳb／日本史学演習6／国際文化演習Ⅲ-3b／国際文化演習Ⅳ-3b／ドイツ語学演習2／地域文化演習14／東洋史学演習8／日本史学演習Ⅱ-5b／Ⅲ-5b／仏教保育演習5b／国際文化演習Ⅲ-2b／Ⅳ-2b／国際文化演習Ⅱ-2b／人文情報学演習Ⅰ-1b／仏教学演習Ⅱ-2b／日本史学演習4／臨床心理学演習6／臨床心理学演習Ⅱ-2b／臨床心理学演習Ⅲ-3b／真宗学演習Ⅳ-4b／日本史学演習Ⅱ-1b／Ⅲ-1b／国文学演習Ⅲ-5b／国文学演習Ⅲ-4b／英文学演習Ⅲ-1b／Ⅳ-1b／国際文化演習Ⅳ-4b／国際文化演習Ⅱ-4b／国際文化演習Ⅲ-4b／臨床心理学演習4／臨床心理学演習Ⅳ-1b／臨床心理学演習Ⅲ-1b／社会福祉学演習Ⅳ-3b／仏教学演習Ⅲ-6b／Ⅳ-6b／仏教經典演習Ⅱ-1b(2-A)／仏教学演習14／地域文化演習18／国際文化演習Ⅱ-1b／仏教学演習Ⅲ-1b／Ⅳ-1b／英文学演習Ⅲ-2b／英文学演習Ⅳ-2b／国際文化演習Ⅰ-2b／国際文化演習Ⅲ-6b／外国文化(英語)文献研究1／地域文化演習22／国際文化演習Ⅲ-11b／人文情報学演習Ⅱ-3b

●実技●

情報リテラシーⅡ-8／情報リテラシー25／情報リテラシーⅡ-2／臨床心理学実習(遊戯療法)／歌唱法2／臨床心理学実習(カウンセリング)／臨床心理学実習(グループ)

●語学●

英語(Advanced)18／英語(総合)1-20b／英語(総合)1b／フランス語Ⅰ-1b／ドイツ語1-5b／ドイツ語1(再)2b／中国語1-12b／英語(Advanced)2／英語リーディングⅠ／ドイツ語1-4b／ドイツ語2-5b／英語(総合)1-22b／中国語1-21b

●アンケート実施科目一覧

【2004年度後期】

●講義●

国文学講義4／日本語表現Ⅰ-1／東洋史学講義17／英語学概論2／西洋文化／日本語表現Ⅰ-2／国文学講義12／国際文化講義14／人間学Ⅰ-9b／仏教概論2／教行信証概説2／人間学Ⅰ-4b／中国文学講義2／人間学Ⅰ-6b／保育内容・健康／保育者論(2-A)／人間学Ⅱ-9／保育者論(2-B)／保育内容・総合表現(2-B)／保育内容・総合表現(2-A)／人間学Ⅰ-16b／人間学Ⅰ-11b／真宗学特殊研究Ⅰ(講義)3／人間学Ⅰ-19b／真宗学講義4／宗教学概論2／日本語表現Ⅰ-5／比較文化2／日本史学概論2／東洋史学講義14／障害者福祉論2／文字と文化／日本語表現Ⅰ-3／情報文化概論／倫理学概論2／中社・地歴科教育法Ⅰ／社会学講義4／応用社会学4／国際文化講義28／文化人類学特殊研究2／人間学Ⅰ-18b／異文化との出会い1／英米文化概論／社会学講義10／応用社会学2／社会福祉援助技術(1-A)／社会福祉援助技術(1-B)／仏教文化特殊研究Ⅰ(講義)3／ドイツ文学講義2／人間学Ⅰ-2b／国際文化講義24／惑星科学2／自然地理学2／地球環境情報／真宗学概論4／真宗学特殊研究Ⅱ(文献研究)／宗教学研究3／哲学講義14／文化を考える-伝統と現代Ⅲ-1／国際文化講義10／異文化との出会い2／日本仏教史／日本語表現Ⅰ-4／仏教講義3／人間学Ⅰ-22b／古文書学Ⅰ-2／古文書解説法／人間学Ⅰ-8b／人文学テキスト処理論／真宗学概論2／人間学Ⅰ-20b／保育内容・言葉(1-B)／保育内容・言葉(1-A)／児童サービス論／国際文化講義2／人間学Ⅱ-8／視聴覚教育メディア論／現代社会論2／社会学講義2／現代社会学特殊研究2／人間学Ⅰ-3b／真宗学2／仏教講義8／国際文化講義17／資料特論／英文学講義2／比較文化論2／人間学Ⅱ-2／図書館サービス論／真宗学特殊研究Ⅰ(講義)2／障害児心理学／養護内容(1-B)／養護内容(1-A)／児童福祉／人間学Ⅰ-15b／ドイツ文学講義4／国際文化講義8／人間学Ⅰ-17b／英文学概論2／仏教講義14／国際文化講義21／中国文学講義4／人間学Ⅰ-12b／哲学講義8／情報倫理学／論理学2

●演習●

文化演習Ⅲ-1／国文学演習Ⅱ-3b／日本史学演習6／史学演習Ⅰ-1b／英文学演習Ⅱb／国文学演習Ⅲ-6b／文化演習Ⅰ-1／哲学演習Ⅰ-2b／哲学演習Ⅱ-2b／国文学演習Ⅲ-1b／国文学演習Ⅳ-1b／国文学演習Ⅱ-1b／仏教演習Ⅱ-1b／中国文学演習2／真宗学演習9／真宗学演習Ⅰ-2b／外国文化(英語)文献研究2／国際文化演習Ⅰ-3b／仏教經典演習Ⅰ-1b(1-A)／仏教演習Ⅱ-2b／教行信証演習4／仏教演習Ⅱ-3b／哲学演習3／史学演習Ⅰ-4b／日本史学演習4／日本史学演習Ⅱ-7b／日本史学演習Ⅲ-7b／史学演習Ⅰ-2b／日本史学演習Ⅱ-4b／日本史学演習Ⅲ-4b／史学演習Ⅰ-3b／社会福祉学演習Ⅱ-1b／社会福祉学演習Ⅳ-1b／社会福祉学演習Ⅲ-1b／社会福祉援助技術演習2／中国文学演習Ⅳ-1b／人文情報学演習Ⅲ-6b／情報文化演習Ⅰ-1／人文情報基礎演習Ⅱ-1／人文情報演習15／人文情報学演習Ⅱ-5b／人文情報演習17／英米文化演習Ⅰ／TOEIC演習Ⅰ／哲学演習18／哲学演習Ⅲ-8b／Ⅳ-8b／教育学演習Ⅳb／社会学演習Ⅱ-2b／社会学演習6／文化人類学演習2／社会学演習Ⅳb／文化人類学演習Ⅳb／社会学演習Ⅱ-4b／文化人類学演習Ⅱ-4b／社会学演習Ⅲ-2b／文化人類学演習Ⅲ-2b／真宗学演習Ⅰ-3b／国際文化演習Ⅳ-3b／国際文化演習Ⅲ-3b／地域文化演習14／国際文化演習Ⅲ-1b／Ⅳ-1b／人文情報学演習Ⅱ-2b／社会福祉援助技術現場実習Ⅱ-1／東洋史学演習8／歎異抄演習Ⅰ-2b(1-B)／文化演習Ⅲ-4／仏教演習10／国際文化演習Ⅲ-5b／国際文化演習Ⅳ-5b／真宗学演習Ⅱ-3b／教行信証演習6／文化演習Ⅰ-2／日本史学演習Ⅱ-1b／Ⅲ-1b／国文学演習Ⅲ-4b／国際文化演習Ⅳ-4b／国際文化演習Ⅲ-4b／哲学演習Ⅰ-4b／真宗学演習Ⅲ-1b／臨床心理学演習4／臨床心理学演習Ⅳ-1b／臨床心理学演習Ⅲ-1b／保育総合演習(1-B)／仏教演習Ⅲ-6b／Ⅳ-6b／国際文化演習Ⅰ-5b／資料組織演習Ⅱ-2／Ⅱ-3／仏教演習Ⅲ-1b／Ⅳ-1b／仏教演習Ⅱ-4b／国際文化演習Ⅲ-10b／国際文化演習Ⅰ-2b／国際文化演習Ⅲ-6b／外国文化(英語)文献研究1／国際文化演習Ⅳ-6b／仏教演習12／仏教經典演習Ⅱ-2b(2-B)／仏教演習Ⅰ-1b／国際文化演習Ⅳ-11b／地域文化演習22

●実技●

体育Ⅱ(2-B)／体育Ⅱ(2-A)／造型／情報リテラシーⅡ-7／情報処理Ⅰ-1／情報リテラシーⅡ-8／音楽Ⅳ(2-B)／音楽Ⅳ(2-A)／音楽Ⅱ(1-A)／音楽Ⅱ(1-B)／情報リテラシーⅡ-1／博物館実習Ⅰ

●語学●

中国語Ⅰ-19b／英語(総合)1b／フランス語Ⅰ-9b／中国語Ⅰ-17b／ドイツ語Ⅰ-5b／英語(総合)2b／英語(読解)1-2b／英語(Advanced)2／英語(総合)1-1b／英語リーディングⅠ／ドイツ語Ⅰ-4b／ドイツ語2-5b／中国語Ⅰ-20b

●スポーツ研究●

スポーツ研究16／スポーツ研究演習2-3

アンケート実施概要

<2002年度後期>

実施期間 2003年1月
実施科目 専任教員担当授業科目の内、各担当教員が選択した合計126科目に対して実施。
調査票回収数 4, 230

<2003年度後期>

実施期間 2004年1月
実施科目 専任教員担当授業科目の内、各担当教員が選択した合計175科目に対して実施。
調査票回収数 6, 182

<2004年度後期>

実施期間 2005年1月
実施科目 専任教員担当授業科目の内、各担当教員が選択した合計212科目に対して実施。
調査票回収数 7, 091

実施方法(各年度とも)

教員がアンケート実施科目を任意に選択し、調査票、回答票の配布から回収までを担当した。

回答者への配慮(各年度とも)

原則として回答者が10名に満たない授業科目に対しては未実施としているが、回答者の了解のある場合には実施した。

また、授業出席者であってもアンケート回答は任意とした。

さらに、実施時には担当教員が回答票を見ないように配慮することとして実施した。

集計方法(各年度とも)

アンケートの集計は学外に業務委託(委託先 株式会社進研アド)して集計をした。

記述項目については、委託先でコンピュータに手入力(誤記についても回答のまま入力)し、その他の項目についてはパソコンにOCRを利用して読み取り、入力を行っている。

また、それぞれの回答票には個別のコードを付与し、データベース化されて保管される。データベースでは、個々の回答票を再現することが可能となっている。

回答票の処理(各年度とも)

回答票の入力データの点検を終えた後、回答票の原票は一定期間保存され、その後処分している。

科目ごとの結果公表(各年度とも)

科目ごとのアンケート結果は担当教員に報告している。学生諸君並びに学外へは公表していない。

実施主体

アンケートは自己点検・評価委員会が実施し、企画室が事務局を担当した。

